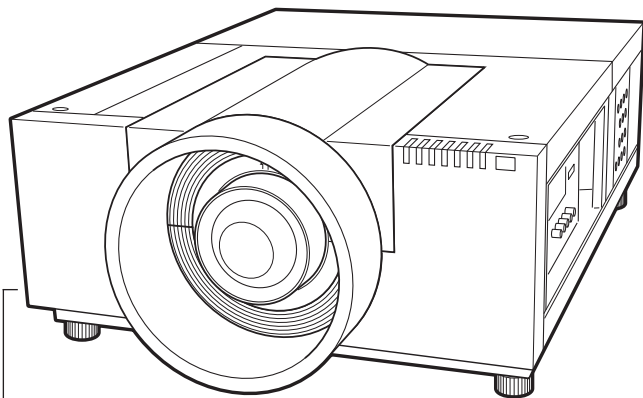
# 取扱説明書

液晶プロジェクター

# 品番 LP-WF20

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに４～15ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。
お買い上げ商品の品番は側面の表示でご確認ください。

保証書は必ずお受け取りください

品番表示（側面）

本機にはレンズは付いておりません。
別売のレンズをご使用ください。

取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

本機は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

# LP-WF20 の特長

### 1366x800ドットの高解像度液晶パネル採用

### WXGA画像をリアル表示

### SXGA、SXGA+、UXGAを圧縮表示

### ランプの明るさの調整や、点灯するランプの選択と切り換えができるランプコントロール・ランプモード機能

### 電力の節約を助ける、パワーマネージメントモード

### 快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- ❏ コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャン システム」と「自動 PC 調整」機能。
- ❏ 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投映できる「デジタルズーム」機能。(コンピュータモード時)
- ❏ 投映画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタル キーストーン(台形補正)」機能。
- ❏ 画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- ❏ 投映光を一時的に遮断する「SHUTTER」機能。
- ❏ プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER(プレゼンテーション タイマー)」機能。

### 防犯対策に役立つ「セキュリティ」メニュー

- ❏ 操作ボタンをロックして、プロジェクターの誤操作を防ぐ「キーロック」。
- ❏ 暗証番号で第三者の不正使用や誤作動を防ぐことができる、「暗証番号ロック」。

### さまざまな設置方法に対応

- ❏ 天吊り
- ❏ 据置
- ❏ リア投映
- ❏ 垂直方向全方位投映(13 ページ参照)

### 電動レンズシフト機能搭載

- ❏ ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面の位置決めを容易にします。

### レンズの交換が可能

- ❏ 別売オプションレンズの交換により、ご使用場所に合わせた投映が可能。

### 自動エアフィルター交換機能

- ❏ センサーが検知したときエアフィルターをプロジェクターが自動で交換します。また、交換用のエアフィルターがなくなったときには画面とインジケータの表示でエアフィルターカートリッジの交換をお知らせします。

### ランプの交換時期も画面表示でお知らせ

### キャプチャー機能で好きな画像を取り込み、オリジナルの起動画面を作ることが可能

### DVI-D(デジタル ビジュアル インターフェイス)搭載

- ❏ デジタル ビジュアル インターフェイス(DVI-D)入力端子により、コンピュータの画像をより鮮明に再現。
- ❏ HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投映できます。

### 海外の映像システムにも対応できる6カラーシステム

- ❏ NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

### 遠隔操作でスマートなプレゼンテーションを可能にするワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを付属

- ❏ プロジェクターおよび接続したコンピュータの両方の操作ができます。
- ❏ 別売のケーブルでワイヤードリモコンとしても使えます。

### カードスロット式接続端子

- ❏ 接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替えや追加により、外部機器またはシステム組み込みに合わせて、プロジェクターを使用することができます。

### 別売のネットワークボードを装着することによりプロジェクターをネットワーク経由で操作・管理することが可能

# もくじ



〜本説明書中の記号について〜

| 記号 | 説明 |
| --- | --- |
| (注意マーク) | 操作上の注意事項や制限事項を記載しています。 |
| (電球マーク) | 関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。 |
| (指マーク) | 関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。 |
| [ ボタン ] 名 | リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。　例：[SELECT] ボタン、[INPUT1 DIGITAL] 端子 |
| 「メニュー」名 | メニューの項目を示しています。　例：「インプット」、「セッティング」 |

＊本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

# 安全上のご注意

## 安全に正しくお使いいただくために

**安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。**

### ■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

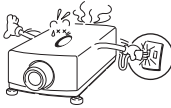
| | | |
|---|---|---|
|  | **警告** | **この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。** |
|  | **注意** | **この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。** |

### ■絵表示の例

| | |
|---|---|
|  | 注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。<br>△の中に具体的な注意内容が描かれています。<br>たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。 |
|  | してはいけない行為（禁止事項）を示しています。<br>⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。<br>たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。 |
|  | しなければならない行為を示しています。<br>●の中に具体的な指示内容が描かれています。<br>たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。 |

# ⚠ 警告



警　告

電源プラグをコンセントから抜け

下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

・煙が出ている
・変なにおいや音がする
・水など液体が本機の内部に入った
・金属類や異物が本機の内部に入った
・画面が映らない
・大きな音が出てランプが消えた

---

禁　止

故障したまま使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

---

警　告

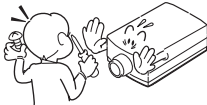
電源プラグをコンセントから抜け

万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

---

分解禁止

禁　止

本機のキャビネットは外さないでください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

---

禁　止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。
※1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないで下さい。

# ⚠ 警告

禁　止

水ぬれ禁止

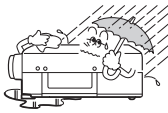
本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災･感電の原因となります。

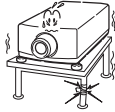
風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

禁　止

不安定な場所や荷重に耐えられないところに置かないでください。

ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

警　告

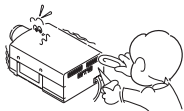
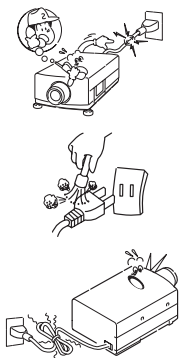
「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取り付けが不十分なときは落下する危険があり、事故やけがの原因となります。設置工事も専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

禁　止

吸気口・排気口や接点部になどに異物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。

- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

# ⚠ 警告

禁　止

## 電源コードの取扱に注意してください。

・電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。
コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
コードを敷物で覆うと、それに気付かず重い物をのせてしまうことがあります。
・電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
・電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
コードが破損して、火災・感電の原因となります。
・コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
・電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ･ごみ･汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くには特にご注意を）
・電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
・電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

接触禁止

## 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

感電の原因となります。

禁　止

## 本機やリモコンを改造しないでください。

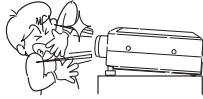
火災・感電の原因となります。

アース線を
接続せよ

## アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3 ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を設置してください。（詳しくは、29、30 ページをご覧ください。）

## ⚠ 警 告

警　告

### 使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

## ⚠ 注 意

禁　止

### 以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。
- ・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

禁　止

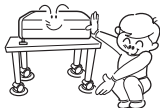
### ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。
吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・設置のときは、ファンの排気口を壁から 1 メートル以上あけてください。
- ・空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。
- ・次のような使い方はしないでください。
  - * 横倒しなど、指定以外の方向への設置。
  - * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
  - * じゅうたんや布団の上に置く。
  - * テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから じゅうぶんにはなし、風通しをよくしてください。（上方・側面・後面各 1m 以上）

# ⚠ 注 意

注 意

**キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。**

動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁 止

**本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。**

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

禁 止

**電源コードを熱器具に近づけないでください。**

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。

禁 止

**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。**

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ぬれ手禁止

**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**

感電の原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから
抜け

**移動させる場合は、電源コードにご注意下さい。**

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

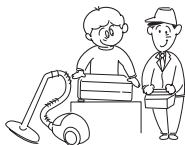
電源プラグを
コンセントから
抜け

**お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。**

感電の原因となることがあります。

## ⚠ 注 意

長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

# 正しくお使いいただくために

## 持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。

●持ち運ぶときは、必ずレンズを取り外し、レンズを取り外したあとのレンズ取付穴部へカバープレートを取り付けてから、専用のケースに納めて運んでください。

　レンズを取り付けたままで輸送すると、レンズの重みでプロジェクター本体を破損する原因になります。

　レンズの取り付け・取り外しは、安全のため専門の販売技術員または、サービス技術員にご相談ください。

●車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

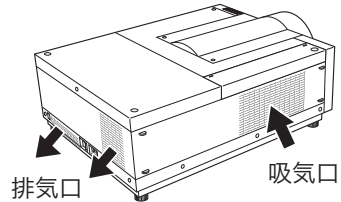
● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 設置するときは次のことに注意してください

### ● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

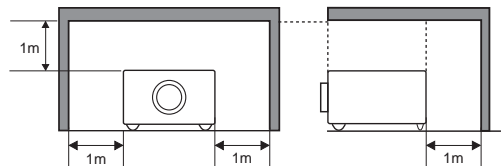
・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
・観葉植物やペットを置かないでください。
・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
・排気口付近には視聴席を設けないでください。

熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

### ● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

| 使用温度範囲 | 5℃～40℃ | 保管温度範囲 | －10℃～60℃ |
|---|---|---|---|

### ● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。
（上方・側面・後面各 1m 以上）

### ● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

# エアフィルターのお手入れ

吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。本機のエアフィルターは目詰まりを感知すると自動的にフィルター部分を巻き取り（交換）、その状況をインジケータでお知らせします。エアフィルターは掃除がいりませんが、吸気口周辺は定期的に掃除をすることをおすすめします。

### エアフィルターの状態をお知らせする表示について

本機には、エアフィルターの状態をお知らせする「フィルター警告」機能があります。詳細については、92 ～ 94 ページをご覧ください。

「セッティング」メニューの「フィルターカウンター」（☞ 84 ページ）で設定した時間に達すると表示されます。ただし、エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときは が表示されます。

エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせします。

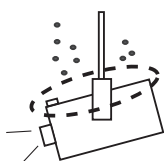
エアフィルターの交換が必要になったことをお知らせします。この表示が出たら、カートリッジを交換してください。

しばらくお待ち下さい

リモコンまたはメニューから強制巻き取りを行なったときに表示されます。

また、本体天面の [WARNING FILTER] インジケータでも同様にお知らせします。[WARNING FILTER] インジケータ（橙色）は、上記の画面表示と同時期に点灯または、点滅してお知らせします。詳細については、100 ページをご覧ください。

※ が表示されたときは、インジケータの点灯・点滅はありません。

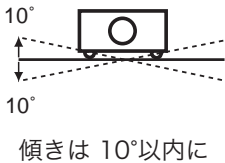
# 天井から吊り下げてご使用になるときに

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

注　意

## 正しい方向に設置してください

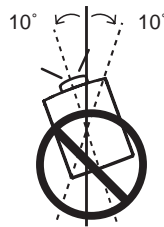
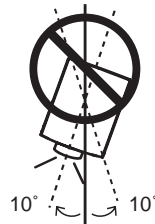
プロジェクターを安全にご使用頂くため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるだけでなく、故障や火災、事故の原因となります。
本機は、上・下・斜めの方向で投映可能です。

### 以下の方向では使用しないでください

傾きは 10˚以内に

プロジェクターの左右方向の傾きは各10度以内としてください。

プロジェクターの水平軸を10度以上傾けて上方向に投映しないでください。

横置き禁止

プロジェクターを横に立てて使用しないでください。

プロジェクターの水平軸を10度以上傾けて下方向に投映しないでください。

## プロジェクター取り扱い上のご注意

注　意

- プロジェクターをたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の原因になります。
- プロジェクターを立てて置くときは、はじめに置く場所が水平か、また異物が無いか確認してください。異物があったり、置く場所に突起があると、破損の原因となります。

接触禁止

本機は、レンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。

- レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。指のはさみ込みによるけがの原因となります。
- お子様がレンズに触れないように注意してください。

※ 取り付けたレンズの仕様によって機能は異なります。

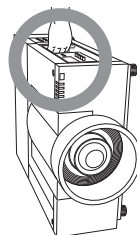
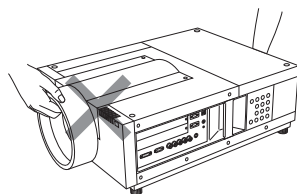
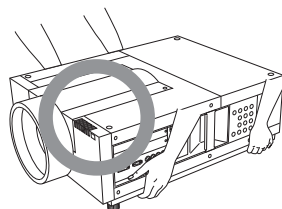
指挟み注意

## プロジェクターを持ち抱えるときのご注意

プロジェクターを以下の状態にしてから持ち運んでください。

注　意

- プロジェクターの接続ケーブルをはずします。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因になります。
- 調整脚をおさめます。
- レンズを取り外し、レンズを取り外したあとのレンズ取付穴部へカバープレートを取り付けてから、専用のケースに納めて運んでください。
- プロジェクターを運ぶときは、安全のために２人以上で両側から持ってください。
  ※ 一人で運ぶときは、重さに注意して側面のキャリングハンドルを持ってください。
- レンズ・レンズカバー部分は絶対に持たないでください。

落としたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

# ⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP 1(2) REPLACE］インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

## ⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

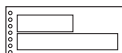
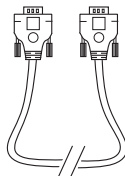
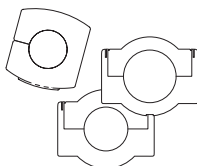
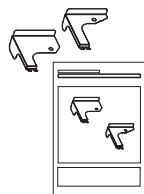
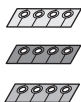
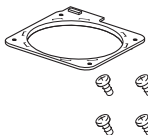
ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

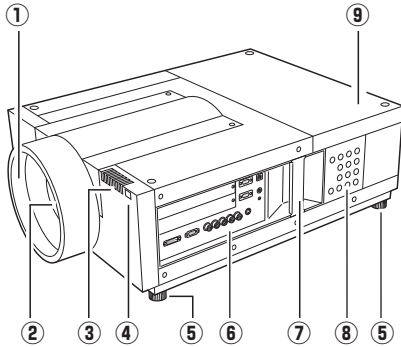
## ⚠ 使用済みランプの廃棄について

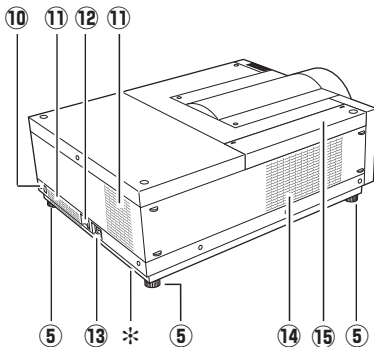
プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

# 準　備

## 付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

* 暗証番号を登録し、プロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。☞ 119 ページ

# 本体各部の名称

ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

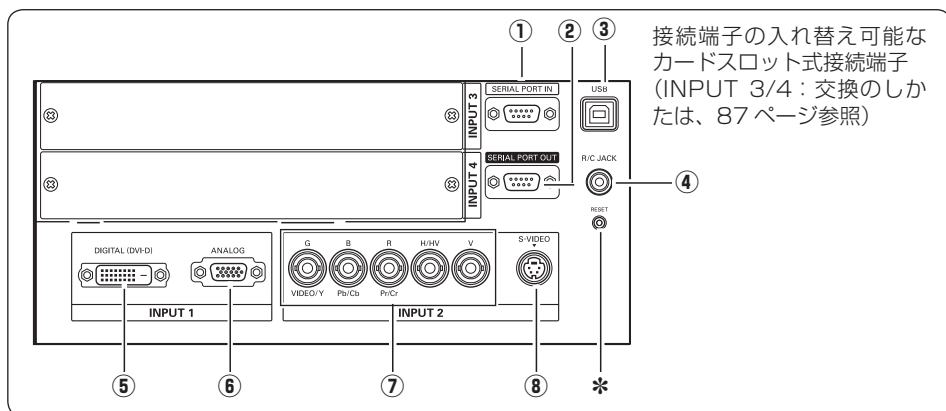
① レンズカバー
② 投映レンズ（別売）
③ インジケータ
④ リモコン受信部（前）
⑤ 調整脚
⑥ 側面端子
⑦ キャリングハンドル
⑧ 操作パネル
⑨ ランプカバー
⑩ リモコン受信部（後）
⑪ 排気口※1
⑫ 主電源スイッチ
⑬ 電源コード接続ソケット
⑭ 吸気口※2
⑮ エアフィルターカバー

＊ 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

※1

スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすいものを近くに置かないでください。火事の原因となります。

※2

内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

# 機器をつなぐ端子

① **SERIAL PORT IN（シリアルポート入力端子）** ☞ 119 ページ
プロジェクターの操作を、コンピュータで行なうときに使用します。この端子とコンピュータのシリアルポートをつなぎます。

② **SERIAL PORT OUT（シリアルポート出力端子）** ☞ 119 ページ
シリアルポート入力端子に入力されている信号をそのまま出力します。1 台のコンピュータで 2 台以上のプロジェクターの操作をするとき、この端子と 2 台目以降のプロジェクターの［SERIAL PORT IN］端子をつなぎます。

③ **USB（USB 端子：シリーズ B）**
☞ 118 ページ
サービスマン用の端子です。

④ **R/C JACK（リモートコントロール端子）** ☞ 24 ページ
この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を別売のリモコンケーブルでつなぐと、ワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。

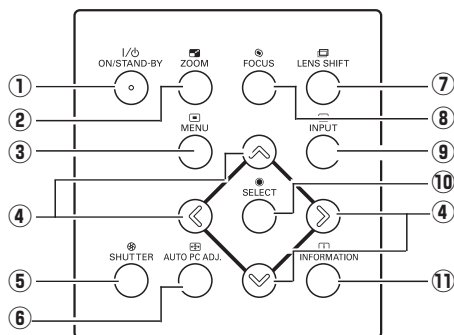
＊ リセットボタン
本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

⑤ **INPUT 1 DIGITAL (DVI-D)（コンピュータ DVI-D 入力端子）**
☞ 27、28、118 ページ
DVI 規格対応の端子を持つコンピュータからのデジタル信号を接続する DVI-D 端子です。接続には別売のコンピュータケーブル（DVI-D 用）を使います。

⑥ **INPUT 1 ANALOG（コンピュータ D-sub 入力端子）** ☞ 27、118 ページ
コンピュータからの出力（D-sub15 ピン / アナログ）を接続します。接続には付属のコンピュータケーブル（D-sub 用）を使います。

⑦ **INPUT 2 G/VIDEO/Y,B/Pb/Cb, R/Pr/Cr,H/HV,V（コンピュータ / ビデオ / コンポーネント入力端子）**
☞ 27、28 ページ
コンピュータからのアナログ信号 (G,B,R, H/V,V) またはビデオ機器からの映像信号 (VIDEO) またはコンポーネント信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) を入力します。接続には市販の BNC ケーブルを使います。

⑧ **INPUT 2 S-VIDEO（S 映像入力端子）**
☞ 28 ページ
ビデオ機器からの S 映像出力をこの端子に接続します。

# 操作パネル

① I/⏻ ON / STAND-BY ボタン
31、34 ページ
電源を入り・切りします。

② ZOOM ボタン 39 ページ
レンズのズームを調整します。

③ MENU ボタン 44 ページ
メニューバーを表示します。

④ ポイント ボタン
44 ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動や各種メニューの調整に使用します。また、デジタルズームモード時の ▲ の移動にも使用します。

⑤ SHUTTER ボタン 43 ページ
シャッターの開閉をします。投映光を遮断することができます。

⑥ AUTO PC ADJ. ボタン
53 ページ
トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。

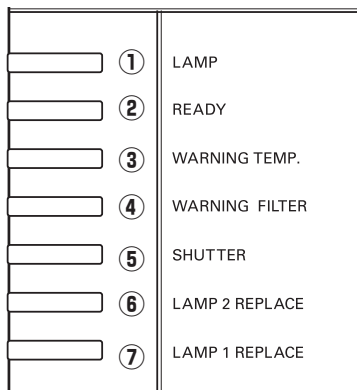
⑦ LENS SHIFT ボタン 40 ページ
レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。

⑧ FOCUS ボタン 39 ページ
フォーカスを調整します。

⑨ INPUT ボタン 38 ページ
インプット（入力）を切り換えます。

⑩ SELECT ボタン 44、64 ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑪ INFORMATION ボタン 47 ページ
投映中の信号・ランプ・セッティングの状況を表示します。

# インジケータ

### ① LAMP（ランプ）インジケータ
☞ 97～101 ページ
主電源が入っているときに明るい赤色で点灯し、プロジェクターの動作中に暗い赤色で点灯します。

### ② READY（レディ）インジケータ
☞ 95、97～101 ページ
電源を入れる準備ができたとき、またプロジェクターの動作中に緑色に点灯します。パワーマネージメントが働いているときは緑色で点滅します。

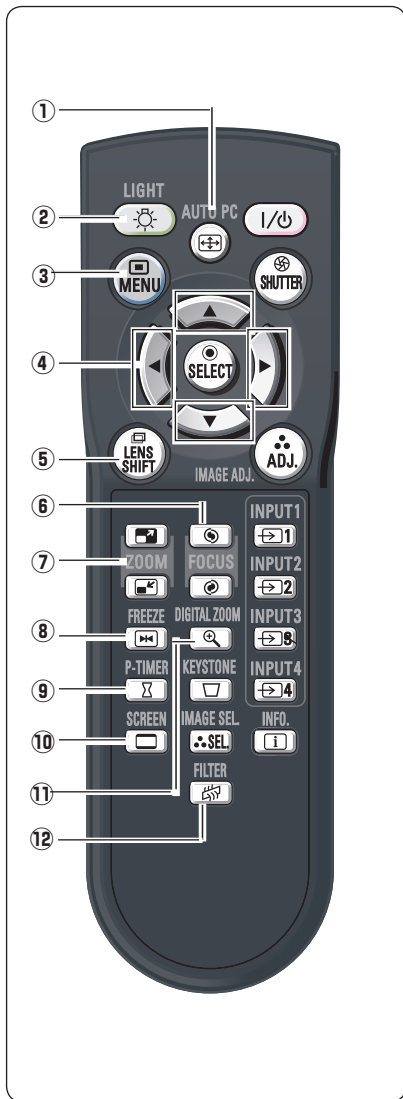
### ③ WARNING TEMP.（ワーニングテンプ）インジケータ
☞ 95、97～101 ページ
赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。

### ④ WARNING FILTER（ワーニングフィルター）インジケータ
☞ 99、100 ページ
橙色に点滅して、エアフィルターの目詰まりによる清掃時期が近いことを知らせます。また、橙色に点灯して、エアフィルターの交換時期に達していることを知らせます。

### ⑤ SHUTTER（シャッター）インジケータ
☞ 43 ページ
青色に点灯してシャッターが閉じているのを知らせます。点滅しているときは、シャットダウン・スタンバイ中です。

### ⑥ LAMP 2 REPLACE（ランプ2リプレイス）インジケータ
☞ 99、100、101 ページ
ランプ 2 の交換時期を知らせます。

### ⑦ LAMP 1 REPLACE（ランプ1リプレイス）インジケータ
☞ 99、100、101 ページ
ランプ 1 の交換時期を知らせます。

# リモコンのボタン -1



オートピーシー
① **AUTO PC ボタン** ☞ 53 ページ
トラッキング・総ドット数・水平位置・垂直位置を自動調整します。

ライト
② **LIGHT ボタン**
1 回押すと、操作ボタンが約 10 秒間点灯します。

メニュー
③ **MENU ボタン** ☞ 44 ページ
メニューバーを出します。

④ **ポイントボタン** ☞ 44 ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動や各種メニューの調整に使用します。また、デジタルズームモード時の ▲ の移動にも使用します。

レンズ　シフト
⑤ **LENS SHIFT ボタン** ☞ 40 ページ
レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。

フォーカス
⑥ **FOCUS ボタン** ☞ 39 ページ
フォーカスを調整します。

ズーム
⑦ **ZOOM ボタン** ☞ 39 ページ
レンズのズームを調整します。

フリーズ
⑧ **FREEZE ボタン** ☞ 42 ページ
画面を一時的に静止させます。

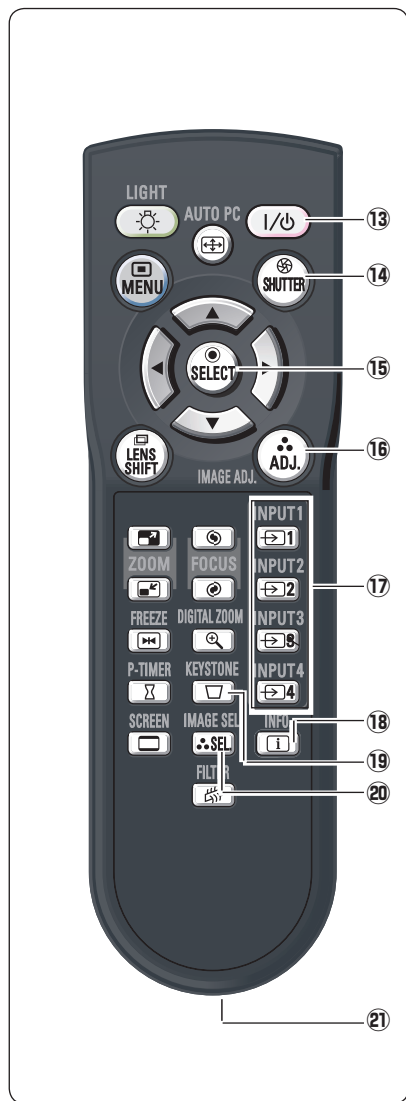
ピータイマー
⑨ **P-TIMER ボタン** ☞ 42 ページ
プレゼンテーション（ボタンを押してから）の経過時間を表示させます。

スクリーン
⑩ **SCREEN ボタン** ☞ 40 ページ
画面サイズを選択します。ボタンを 5 秒以上押すと「スクリーン」メニュー内の設定が工場出荷時に戻ります。

デジタルズーム
⑪ **D.ZOOM ボタン** ☞ 64 ページ
デジタルズームモードに入ります。

フィルター
⑫ **FILTER ボタン** ☞ 75 ページ
エアフィルターの強制巻き取りに使用します。ボタンを 5 秒以上押すとエアフィルターを 1 回巻き取ります。

# リモコンのボタン -2

⑬ **I/⏻ (オン/オフ) ボタン** ☞ 31、34 ページ
電源を入り・切りします。

⑭ **SHUTTER (シャッター) ボタン** ☞ 43 ページ
シャッターの開閉をします。投映光を遮断することができます。

⑮ **SELECT (セレクト) ボタン** ☞ 44、64 ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑯ **ADJ. (IMAGE ADJ.) (イメージアジャスト) ボタン** ☞ 58 ページ
「イメージ調整」メニューを呼び出し、調整をします。

⑰ **INPUT (インプット) 1~4 ボタン** ☞ 38、48 ページ
入力を選択します。

⑱ **INFO. (インフォメーション) ボタン** ☞ 47 ページ
投映中の信号状況やセッティングの状況を表示します。

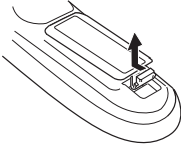
⑲ **KEYSTONE (キーストーン) ボタン** ☞ 41 ページ
画面の台形ひずみ ( あおり ) を補正します。

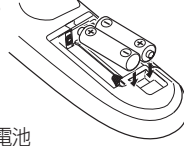
⑳ **IMAGE SEL. (イメージセレクト) ボタン** ☞ 57 ページ
イメージモードを選択します。

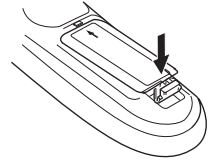
㉑ **ワイヤードリモコン端子** ☞ 24 ページ
ワイヤードリモコンとして使用するときは、別売のリモコンケーブルでこの端子とプロジェクターのリモコン端子 (R/C JACK) を接続します。
✻ リモコンに電池は必要です。

## 電池の入れかた

**1** 電池カバーを開けます。

押しながら、上に引き上げます。

**2** 電池を入れます。

付属の乾電池を＋（プラス）、－（マイナス）に注意して入れます。

使用乾電池
単三形アルカリ乾電池２本

**3** 電池カバーを閉めます。

### 電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。

・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
・乾電池は充電しない。分解しない。
・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

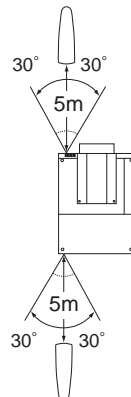
また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

## リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受信部から約5m以内、上下左右30度以内です。

※ 天吊りなどで蛍光灯の近くに設置したときは、「セッティング」の「リモコン受光部」で蛍光灯から離れている方にあるリモコン受光部を選択することをおすすめします。
☞ 76ページ

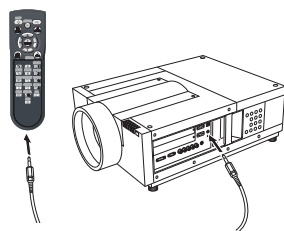
※ 間に障害物があると操作の妨げになります。

### リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当らないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

## ワイヤードリモコンで操作

別売のリモコンケーブル（☞ 116 ページ）で、側面の[R/C JACK] 端子と、リモコンのワイヤードリモコン端子を接続します。

※ リモコンに電池は必要です。

※ リモコンをワイヤレスでご使用になるときは、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンからはずしてください。リモコンケーブルがプロジェクターに接続されていると、プロジェクターはリモコンのワイヤレス操作を受け付けません。

## リモコンコードの設定

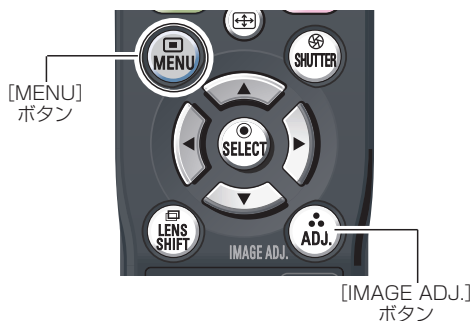
本機は 8 種類のリモコンコード（「コード 1」～「コード 8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコード（「コード 2」～「コード 8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。プロジェクターのリモコンコードを切り換えるにはセッティングメニュー内で行ないます。☞ 76 ページ

**手　順**

**1** [MENU] ボタンを押します。

**2** [MENU] ボタンを押したまま [IMAGE ADJ.] ボタンを押します。[IMAGE ADJ.] ボタンを押す回数でコードが決まります。

※　[MENU] ボタンを押すのをやめたとき、コードが切り換わります。

| リモコンコード | [IMAGE ADJ.] ボタンを押す回数 |
|---|---|
| コード 1 | 1 |
| コード 2 | 2 |
| コード 3 | 3 |
| コード 4 | 4 |
| コード 5 | 5 |
| コード 6 | 6 |
| コード 7 | 7 |
| コード 8 | 8 |

※ 設定したリモコンコードを初期化したいときはリモコンの電池カバー内にあるスイッチを右側にスライドさせます。（右図）その後スイッチを左側にスライドさせて [ON] に戻します。工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

リモコン本体のスイッチ

# 設置のしかた

## レンズを取り付ける

プロジェクターを据え付ける前に、プロジェクター本体にレンズを取り付けます。はじめにプロジェクターを使用する環境に合ったレンズを決めます。本機に適合するレンズ品番およびレンズの仕様は、取扱販売店にご相談ください。レンズの取り付け及び交換は、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。 お客様自身での取り付け・交換はしないでください。

注　意



**別売レンズ LNS-T01、LNS-T01Z は本機にはご使用になれません。**
ご使用になりますと、故障・破損するおそれがあります。

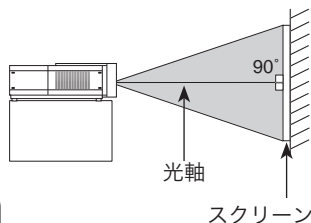
**レンズ取り付け後、プロジェクターを設置するとき、レンズには必ずレンズ保護キャップをしてください。また、プロジェクター本体を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部は絶対に持たないでください。プロジェクターを破損する原因になります。**

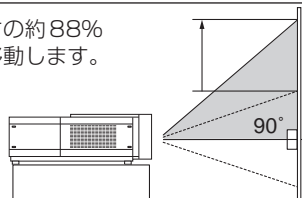
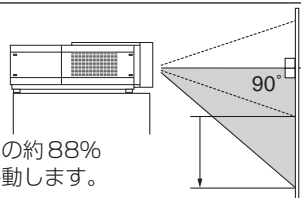
## テストパターンを投映する

プロジェクターを設置するとき、外部の信号源を使わず内蔵のテストパターンを投映することができます。「セッティング」メニューで「テストパターン」の中から選択して投映します。86 ページ

## スクリーンに対して直角に設置する

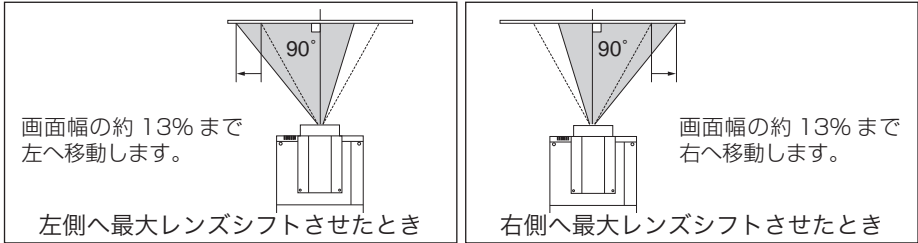
投映したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

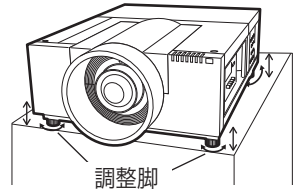
※ スクリーンに対して過度に斜めに投映すると、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。

## レンズシフト機能で画面の位置を合わせる（例）

本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動させることができます。操作のしかたについては、40 ページをごらんください。

上側へ最大レンズシフトさせたとき

下側へ最大レンズシフトさせたとき

## レンズシフト（つづき）

左側へ最大レンズシフトさせたとき

右側へ最大レンズシフトさせたとき

## 投映画面の高さと傾きを調整する

本体前方（または後方）を持ち上げてから、本体前方（または後方）の調整脚をまわして投映画面の高さと傾きを微調整します。
最大約 2.8 度まで上がります。

※ 赤いラインより伸ばさないでください。調整脚が抜け落ちるおそれがあります。
※ 画面の上下左右の位置は、主にレンズシフト機能で調整します。 ☞ 40 ページ

画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投映角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。☞ 41、66、67 ページ

お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

ご注意・著作権について

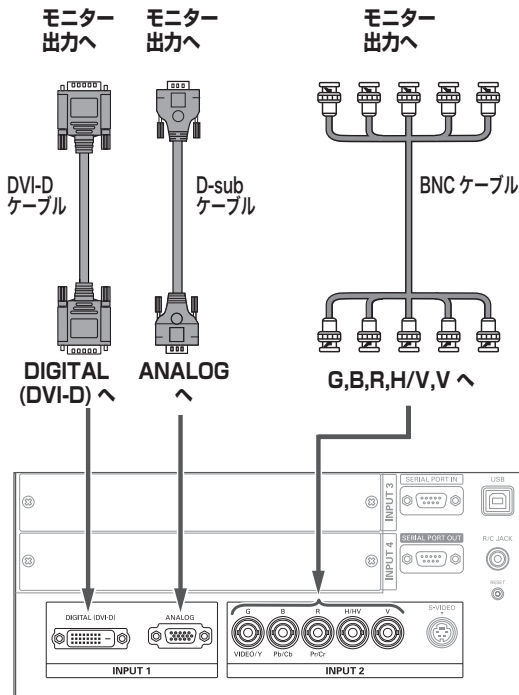
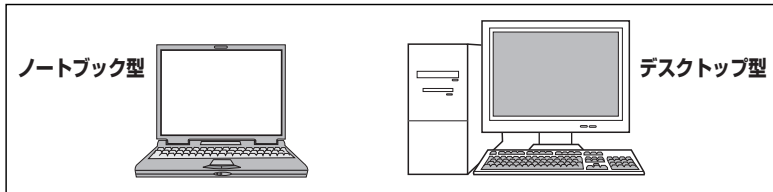
この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

# 接続の例　～コンピュータ

### 接続に使用するケーブル

• D-sub ケーブル
• DVI-D ケーブル
• BNC ケーブル（市販のケーブルをお使いください。）

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。



**接続するときのご注意：**
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

# 接続の例　～ビデオ

## 接続に使用するケーブル

- ビデオ ケーブル（RCAx3、RCAx1）
- S ビデオ ケーブル
- BNC ケーブル
- DVI-D ケーブル

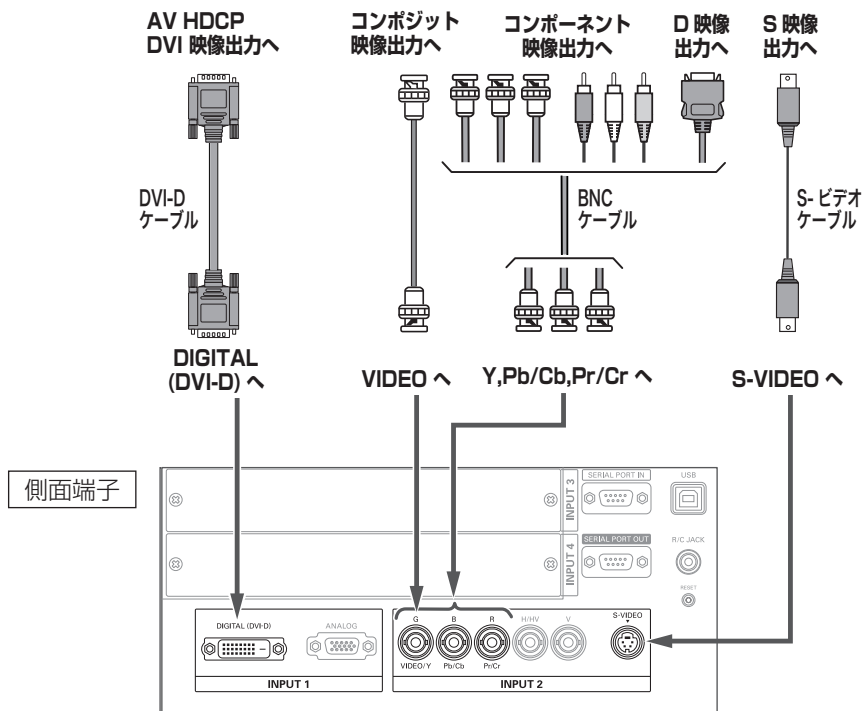
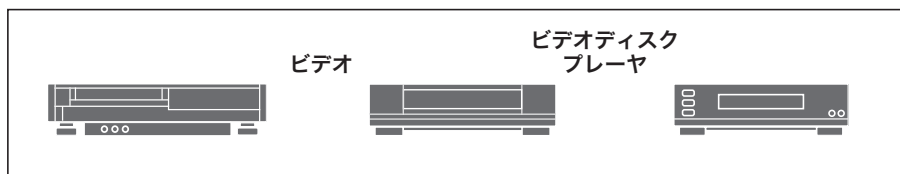
※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

AV HDCP DVI 映像出力へ
コンポジット映像出力へ
コンポーネント映像出力へ
D 映像出力へ
S 映像出力へ

DVI-D ケーブル
BNC ケーブル
S- ビデオ ケーブル

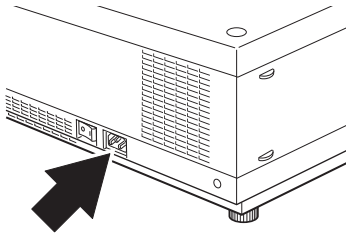
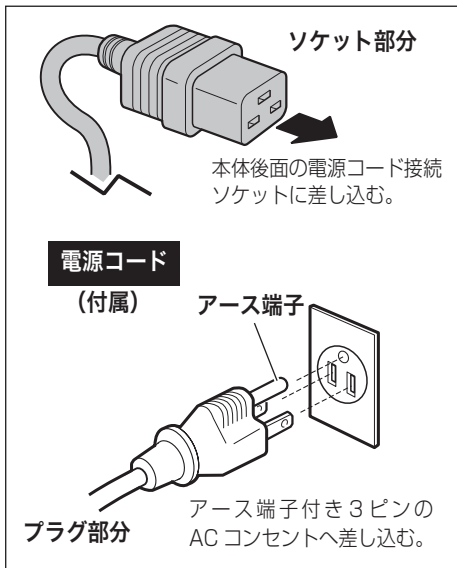
DIGITAL (DVI-D) へ
VIDEO へ
Y,Pb/Cb,Pr/Cr へ
S-VIDEO へ

側面端子

INPUT 3
INPUT 4
SERIAL PORT IN
SERIAL PORT OUT
USB
R/C JACK
RESET
DIGITAL (DVI-D)
ANALOG
INPUT 1
G
B
R
H/HV
V
S-VIDEO
VIDEO/Y
Pb/Cb
Pr/Cr
INPUT 2

**接続するときのご注意：**
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

# 電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、18、27、28 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

*1* 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。

*2* 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。

※ 図の形状は実際のものとは異なります。

### 電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

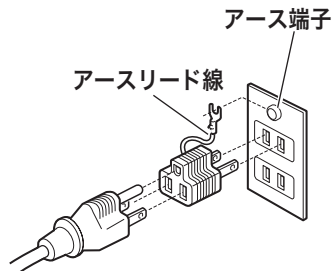
### ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタン＊で電源を切っても約 17W の電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。



### 電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください

電源コードのプラグはアース端子付き３ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが２ピン専用（アース端子がない）場合は、アース工事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタを使うときは、安全のため、コンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接地してください。また、はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いたあとでアースリード線をはずしてください。

＊リモコンの［ I/⏻ ］ボタン、操作パネルの［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンはまとめて、［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンと表記します。

# 電源を入れる・切る

## 電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、18、27、28 ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

**1** 電源コードを AC コンセントに接続します。☞ 29 ページ
本機の後面にある主電源スイッチを入れます。
［LAMP］インジケータ ( 赤 ) と、［READY］インジケータ ( 緑 ) が点灯します。

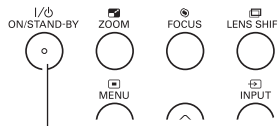
**2** リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタン＊を押して電源を入れます。＊
正常に起動すると［LAMP］インジケータ ( 赤 ) が少し暗めの点灯に変わります。
約 20 秒間のオープニング画面とそのカウントダウン＊＊が終わると画像が映ります。
スタート時、「ランプモード」（☞ 74 ページ）と「インプットモード」の表示が約 4 秒間出ます。

このとき、「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」（☞ 79 ページ）を「オン」にしているときは、暗証番号を入力します。
※ 暗証番号の入力方法は 33 ページを参照ください。

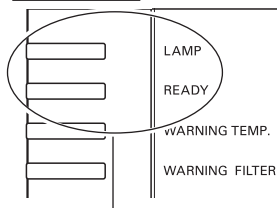
＊ セッティングメニューで「オンスタート・オン」（☞ 77 ページ）に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

＊＊ セッティングメニューで、
- 「オンスクリーン表示･オン」（☞ 69 ページ）、「ロゴ選択･オフ」（☞ 70 ページ）に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
- 「オンスクリーン表示・オフ」（☞ 69 ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」（☞ 70 ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。
- 「オンスクリーン表示・カウントダウンオフ」（☞ 69 ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」（☞ 70 ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投映されます。

＊ リモコンの［ I/⏻ ］ボタン、操作パネルの［ I/⏻ ON/STAND-BY］ボタンはまとめて、［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンと表記します。

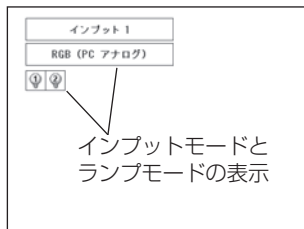
**操作パネル**

［I/⏻ ON/STAND-BY］ボタン

**インジケータ**

LAMP
READY
WARNING TEMP.
WARNING FILTER

［LAMP/READY］インジケータ

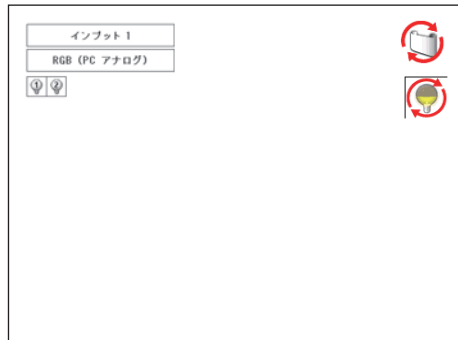
**リモコン**

［I/⏻ ］ボタン

インプットモードと
ランプモードの表示

### エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

電源を入れた後、プロジェクターの状態により「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。☞ 92、93 ページ

※ 表示は約 4 秒間出ます。

この表示はエアフィルターカートリッジの交換をお知らせしています。エアフィルターカートリッジの交換をせずにプロジェクターを使用し続けると、光学部品の保護のために、電源を入れてから約 3 分後に電源が自動的に切れます。

フィルター警告と
ランプ交換の表示

### 電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。[READY］インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

### ご使用にならないときは、主電源スイッチを切ってください

［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンで電源を切っても、約 17W の電力が消費されています。安全と節電のため、長時間ご使用にならないときは、主電源スイッチ（MAINS SW）を「OFF（切)」にしてください。

## 暗証番号の入力

※ 「電源を入れる」（☞ 31 ページ）1・2 に続いて・・・

**3** 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、31 ページ「手順 **2**」でカウントダウンが終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。

**4** [ポイント] ボタンの上下で 0 ～ 9 の数字を選択し、[ ポイント ] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

**5** 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ ポイント ] ボタン右で「セット」に移動します。

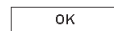
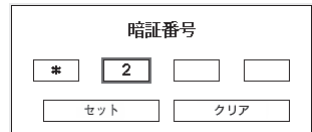
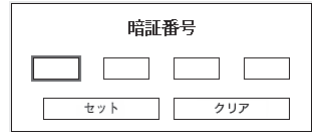
**6** [SELECT] ボタンを押して決定します。

※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し [ ポイント ] ボタン上下で数字を選び直します。
※ 4 けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押します。

**7** 正しく入力されていると、「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。

● 正しい暗証番号が入力されないと、約 3 分後に電源が切れます。

### 「暗証番号ロック」とは？

管理者以外の暗証番号を知らない、第三者によるプロジェクターの操作を防止します。
詳しくは 79 ページの「セッティング」メニューの、「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照ください。

# 電源を切る

**1** リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押すと、画面に「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示が出ます。

**2** 表示が出ている間に再度ボタンを押すと画面が消え、電源が切れます。
電源が切れると［READY］インジケータが消え、ランプの冷却を始めます。

もう1度押すと電源が切れます

※ 表示は約 4 秒間出ます。

**電源を切った後、すぐには電源が入りません**

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。［READY］インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

**ランプを長持ちさせるために**

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約 5 分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンで操作してください。電源が入った状態からいきなり主電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

**冷却ファンについて**

投映している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。

## パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30 秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※ 工場出荷時は「待機・5 分」に設定されています。
77 ページ

ランプ消灯までの時間

**[LAMP/READY] インジケータ**

パワーマネージメントモードになると [LAMP] インジケータが暗く点灯し、[READY] インジケータが点滅を始めます。

### パワーマネージメントの動作について

**設定が「待機」のとき**

1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ランプ冷却中は［LAMP］インジケータが暗く点灯し、プロジェクターの操作はできません。
※ [READY] インジケータは消灯しています。

2）ランプの冷却が完了すると［READY］インジケータが点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。(［LAMP］インジケータは暗点灯中 ) この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

**設定が「シャットダウン」のとき**

1）タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプ冷却中は［LAMP］インジケータが暗く点灯し、プロジェクターの操作はできません。

2）ランプの冷却が完了すると 、電源が切れます。

プロジェクターを 24 時間以上連続して使用する場合は 24 時間に一度電源を切り、1 時間休ませてください。
休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

# ランプマネージメントについて

本機は2個のランプを搭載しています。ランプマネージメントはこれらのランプの点灯状況を監視し、ランプを最適な点灯状態になるよう自動的にコントロールし、ランプの点灯状態を画面の「ランプステータス」表示と、プロジェクター本体の[LAMP 1(2) REPLACE]インジケータで表示します。
☞次ページ

## ランプステータス表示

インプット（入力）を切り換えたときに、画面左上に2個のランプ表示が約4秒間出ます。このランプ表示は、ランプの点灯状況を示しています。表示の番号は内部に装着されている各ランプの番号を示しています。各ランプの状況で以下のように表示されます。

※ 電源を入れたときのオープニング画面（カウントダウン表示）が終わった後はランプモードが表示されます。

### ランプが2個、黄色で表示されている

2個のランプが正常に点灯しています。

### ランプが1個、暗く表示されている

1個のランプが正常に点灯しています。
(「ランプモード」で「1灯」を選択しています☞74ページ)

### ランプが赤く表示されている

工場で設定した目安のランプ交換推奨時間になっています。早めにランプ交換することをおすすめします。（交換のしかたは89、90ページ参照）
※［LAMP 1(2) REPLACE］インジケータが点灯します。☞次ページ

### ランプに×マークが付き、暗く表示されている

「X」マークのランプが寿命または故障などで点灯していません。一旦電源を切り、しばらくしてから電源を入れなおしてください。電源を入れなおしても「X」マークが表示されるときは、ランプの交換が必要です。(交換のしかたは90ページ参照)
※［LAMP 1(2) REPLACE］インジケータも点滅しています。☞次ページ

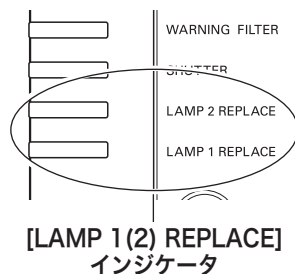
## [LAMP 1（2）REPLACE] インジケータ

### [LAMP 1(2) REPLACE] インジケータが点灯している

このインジケータが点灯すると、2 個のランプのどちらかにランプ寿命が近づいているものがあります。ランプ交換を行なってください。☞ 90 ページ

### [LAMP 1(2) REPLACE] インジケータが点滅している

このインジケータが点滅しているときは、2 個のランプのどちらかが寿命または故障により点灯していません。ランプ交換を行なってください。
☞ 90 ページ

[LAMP 1(2) REPLACE]
インジケータ



## 自動ランプ点灯モード切り換え

プロジェクターが最良の点灯状態となるようにランプマネージメントはランプの点灯モードをランプの状態により自動的に切り換えます。

### 2 灯点灯モード時

2 個のランプのうち 1 灯が寿命または故障で不点灯になると、自動的に 1 灯のみの点灯に切り換わります。( ランプステータス表示で不点灯のランプに X マークが付きます )

### 1 灯点灯モード時

1 灯点灯時に、2 個のランプのうち 1 灯が寿命または故障で不点灯になると、自動的に点灯可能な方のランプに切り換わります。

※ 2 個のランプが正常で 1 灯点灯させたとき、2 個のランプで積算点灯時間が短い方のランプを自動検出し、そのランプを優先して点灯させます。
※ [LAMP 1(2) REPLACE] インジケータが点滅し、どちらのランプに異常が起きたのかをお知らせします。
※ 両方のランプが不点灯になると、電源が切れます。

# 入力信号を選択する

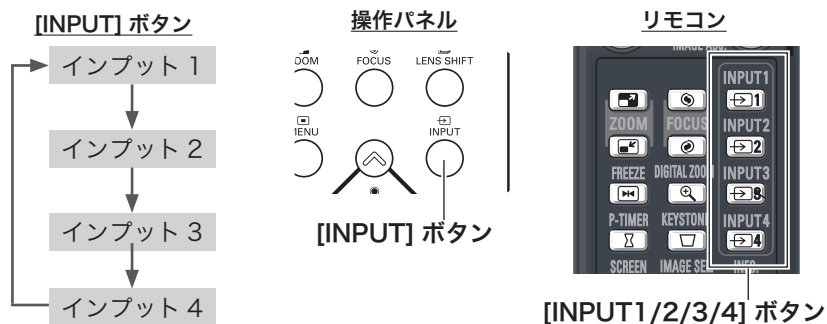
## [INPUT]、[INPUT 1/2/3/4] ボタン

プロジェクター本体の操作パネルとリモコンのボタン操作は異なります。

- 操作パネルの [INPUT] ボタンを押して、投映するインプット 1 ～ 4 を選択します。
- リモコンの [INPUT 1/2/3/4] ボタンで入力を選択するときは、入力信号のあるインプットのボタンを押します。

48 ～ 50 ページ

ご注意：

- 本体の操作パネルで選択するときは、正しい選択の前に、メニューの「インプット」で各入力の信号選択を行ないます。信号選択が正しく行なわれていないと［INPUT（1/2/3/4)］ボタンを押しても信号は正しく投映されません。
- カードスロットが差し込まれていない「インプット」は選択できません。

# 投映画面の調整やその他の操作

## 投映画面を調整する

リモコンまたは操作パネルの［ZOOM］ボタン・［FOCUS］ボタンを押すと、その調整モードに切り換わります。

### 画面の大きさを決める

#### [ZOOM] ボタン

**リモコンで操作するとき**

［ZOOM］ボタン上・・・画面が大きくなります。
［ZOOM］ボタン下・・・画面が小さくなります。

**操作パネルで操作するとき**

[ZOOM] ボタンを押すと「ズーム」の表示が出ます。
表示が出ている間に、
［ポイント］ボタン上・・・画面が大きくなります。
［ポイント］ボタン下・・・画面が小さくなります。

※ 表示は約４秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

### フォーカスを合わせる

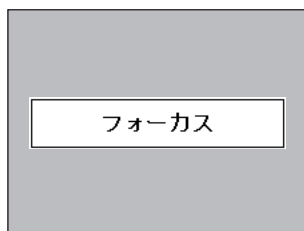
#### [FOCUS] ボタン

**リモコンで操作するとき**

［FOCUS］ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

**操作パネルで操作するとき**

[FOCUS] ボタンを押すと「フォーカス」の表示が出ます。表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

フォーカス

※ 表示は約４秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

## レンズシフト機能で画面の位置を上下左右に動かす

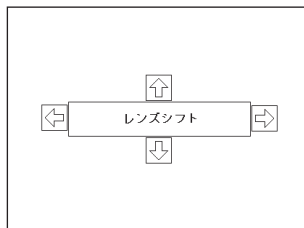
### [LENS SHIFT] ボタン

**リモコンおよび操作パネルで操作するとき**

**1** リモコンまたは操作パネルの［LENS SHIFT］ボタンを押してレンズシフト調整モードに入ります。画面に「レンズシフト」表示が現れます。

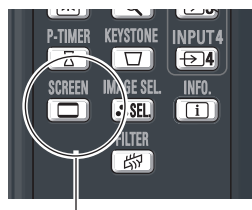
**2** 表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下左右で、画面の位置を上下左右に動かします。

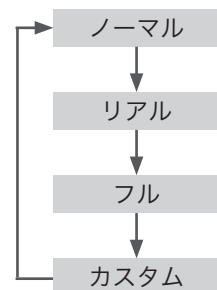
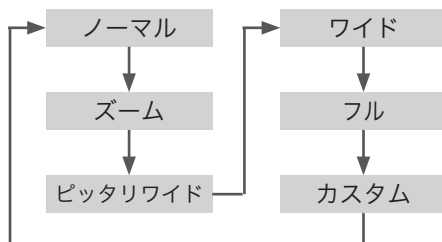
※ 表示は約 4 秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

※ 移動中に左右方向の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズの左右方向の中央です。
※ 最大のシフト位置で矢印の表示が消えます。
※ レンズシフト機能で調整した内容は、電源を切っても記憶されています。
※ 画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなることがあります。

## 画面サイズの選択

### [SCREEN] ボタン

リモコンの [SCREEN] ボタンで、入力信号に合わせて画面のサイズを選択することができます。
☞ 63 ～ 67 ページ

※ ボタンを 5 秒以上押すと、「スクリーン」メニュー内の設定したすべての内容が工場出荷時に戻ります。
※ 操作パネルに [SCREEN] ボタンはありません。

[SCREEN] ボタン

**コンピュータ入力画面**

**ビデオ入力画面**

# キーストーン調整（台形歪みの補正）

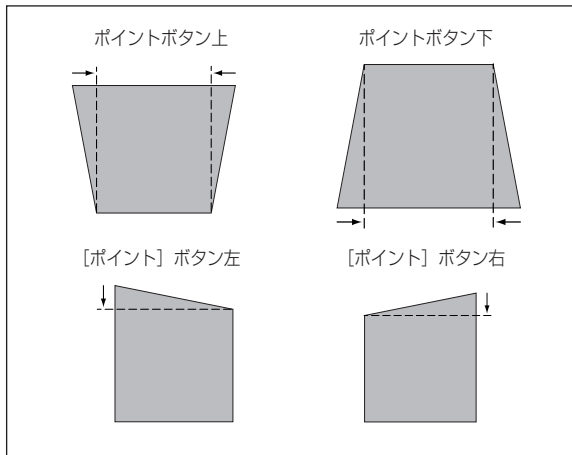
## [KEYSTONE] ボタン

リモコンの［KEYSTONE］ボタンを押します。「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下左右で画面の台形ひずみを補正します。
［ポイント］ボタン 上・・・画面上部の幅が縮みます。
［ポイント］ボタン 下・・・画面下部の幅が縮みます。
［ポイント］ボタン 左・・・画面左部の高さが縮みます。
［ポイント］ボタン 右・・・画面右部の高さが縮みます。

[KEYSTONE] ボタン

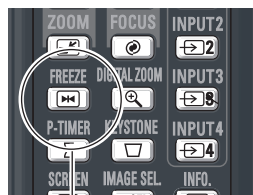
キーストーン 

※ 表示は約 10 秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。
※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。（無補正の場合の表示は白色です。）
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

※「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
※「スクリーン」メニュー内の「キーストーン」からも調整することができます。☞ 66、67 ページ
※ 操作パネルに [KEYSTONE] ボタンはありません。

# 画面を一時的に静止させる

## [FREEZE] ボタン

リモコンの［FREEZE］ボタンを押すと、再生機器に関係なく投映画面だけが静止します。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。

[FREEZE] ボタン

**こんなときに便利です**

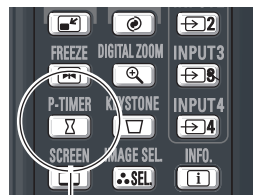
プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には［FREEZE］ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

# プレゼン時に経過時間を表示する

## [P-TIMER] ボタン

リモコンの［P-TIMER］ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。
もう一度［P-TIMER］ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに［P-TIMER］ボタンを押すと解除されます。

[P-TIMER] ボタン

02 : 02

**こんなときに便利です**

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

# 投映中の光を一時的に遮断する

本機は機械的なシャッターを搭載しており、このシャッターにより、投映光を完全に遮断することができます。

## [SHUTTER] ボタン

操作パネルまたはリモコンの [SHUTTER] ボタンを押します。[SHUTTER] インジケータが青色に点灯し、投映光が遮断されます。もう一度 [SHUTTER] ボタンを押すと解除されます。シャッターが開き再投映されます。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。

※ シャッターの動作は設定によって異なります。シャッター動作は「セッティング」メニューの中「シャッター」で選択します。はじめに「シャッター」メニューで動作の選択を行なってください。☞ 82 ページ

※ リモコンまたは操作パネルの [SHUTTER] ボタンを押したとき、[!] が表示され、シャッターも閉まらないときは、ボタンがロックされています。「シャッター」メニューの確認をしてください。☞ 82 ページ

[SHUTTER] ボタン

**こんなときに便利です**

投映光も遮断されるので、まぶしくありません。

# オンスクリーンメニューの操作方法

## メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー ( 画面上のメニュー ) の操作は、① ポインタを移動し、② ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

**オンスクリーンメニューの例**

### ① ポインタの動かしかた

ポインタは、[ポイント] ボタンで上下左右に動かします。[ポイント] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

### ② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした図）を選択するには、[SELECT] ボタンを押します。[SELECT] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

**操作パネル**

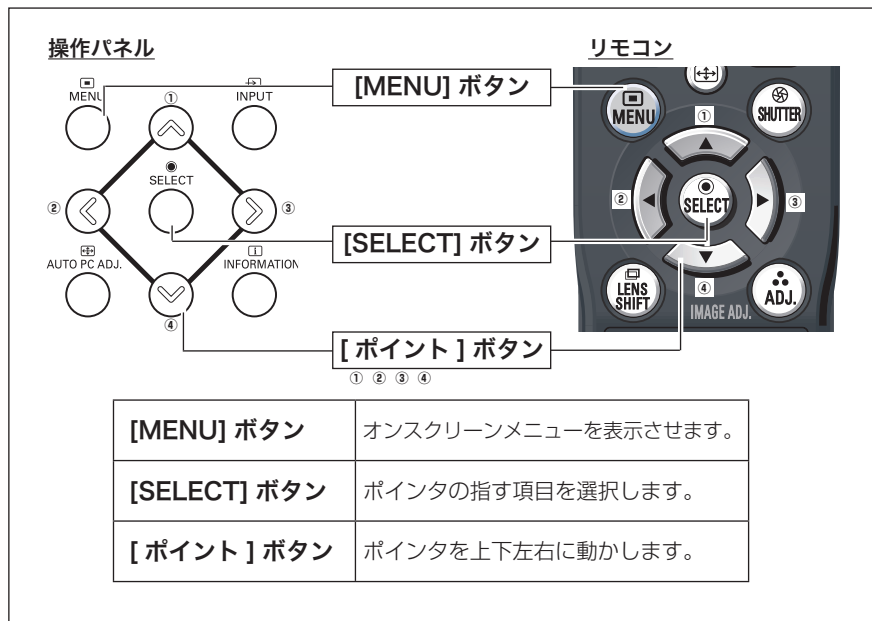
**リモコン**

MENU
INPUT
SELECT
AUTO PC ADJ.
INFORMATION
SHUTTER
LENS SHIFT
ADJ.
IMAGE ADJ.

[MENU] ボタン

[SELECT] ボタン

[ ポイント ] ボタン
① ② ③ ④

| [MENU] ボタン | オンスクリーンメニューを表示させます。 |
|---|---|
| [SELECT] ボタン | ポインタの指す項目を選択します。 |
| [ ポイント ] ボタン | ポインタを上下左右に動かします。 |

# 操作の手順

## 画面にメニューバーを表示させる

**1** ［MENU］ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。（☞46ページ）メニューバーには選択できるメニューがアイコン（操作をイメージした図）の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

## メニューを選択する

**2** 赤い枠のポインタを、［ポイント］ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

## メニュー画面で調整や切り換えを行なう

**3** ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整する項目のアイコンに合わせます。

**4** ［SELECT］ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。

**5** ［ポイント］ボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。
それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。

※ これ以降のページで、メニューバーや各項目のアイコンについての説明をするとき、“アイコン”を省略するときがあります。

# メニューバー

| | | |
|---|---|---|
| ① | **ガイドボックス**<br>オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。 | |
| ② | **インプットメニュー** ☞ 48 ～ 50 ページ<br>「インプット（入力）1 ～ 3」を切り換えます。 | |
| ③ | **システムボックス** ☞ 51、52 ページ<br>コンピュータ画面のときは、選択されたコンピュータシステムを表示します。<br>ビデオ画面のときは、選択されたカラーシステムまたは走査方式を表示します。 | |
| ④ | **PC 調整メニュー＊** ☞ 53 ～ 56 ページ<br>お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。 | 自動 PC 調整、トラッキング、総ドット数、ポジション H、ポジション V、コンピュータ情報、クランプ、画面領域 H、画面領域 V、リセット、データ消去、メモリー |
| ⑤ | **イメージ選択メニュー** ☞ 57 ページ<br>画面のイメージモードを選択します。 | 標準、リアル＊、シネマ＊＊、イメージ 1 ～ 10 |
| ⑥ | **イメージ調整メニュー**<br>☞ 58 ～ 62 ページ<br>画面のイメージをマニュアルで調整します。 | コントラスト、明るさ、色の濃さ＊＊、色合い＊＊、カラーマネージメント、自動画質補正、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、オフセット、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション＊＊、プログレッシブ＊＊、リセット、メモリー |
| ⑦ | **スクリーンメニュー**<br>☞ 63 ～ 67 ページ<br>画面の大きさのモード設定をします。 | ノーマル、リアル＊、ズーム＊＊、ピッタリワイド＊＊、ワイド＊＊、フル、カスタム、デジタルズーム＋ / －＊、キーストーン、天吊り、リア投映、リセット |
| ⑧ | **セッティングメニュー**<br>☞ 68 ～ 86 ページ<br>プロジェクターの各種設定を行なうメニューです。 | 言語、メニュー、オンスクリーン表示、バックグラウンド、ロゴ、ランプモード、ランプコントロール、フィルター制御、ファン制御、リモコンコード、リモコン受光部、パワーマネージメント、オンスタート、セキュリティ、プロジェクター ID、シャッター、ランプカウンター、フィルターカウンター、テストパターン、初期設定 |
| ⑨ | **インフォメーションメニュー**<br>☞ 47 ページ<br>投映中の信号状況とセッティングの状況を表示します。 | インプット、水平周波数、垂直周波数、スクリーン、言語、ランプモード、ランプコントロール、パワーマネージメント、シャッターマネージメント、セキュリティ、リモコンコード |

＊　コンピュータ画面のときのみ表示、または選択可
＊＊　ビデオ画面のときのみ表示、または選択可

# 投映中の入力信号の状況やランプの状態を確認する

「インフォメーション」で、投映中の入力信号の状況とランプの状態を画面上で確認することができます。

## ダイレクトボタンから確認する

操作パネルの [INFORMATION] ボタン、またはリモコンの［INFO.］ボタンを押すと、下図が表示されます。

**操作パネル**

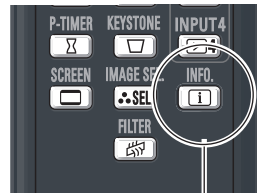
[INFORMATION] ボタン

**リモコン**

[INFO.] ボタン

## 「メニュー」から確認する

［MENU］ボタンを押してメインメニューを出し、［ポイント］ボタンの左右で［インフォメーション］を選択すると、以下の内容が表示されます。

- ・投映中の信号の種類（インプット）
- ・水平周波数
- ・垂直周波数
- ・スクリーン
- ・言語
- ・ランプモード
- ・ランプコントロール
- ・パワーマネージメント
- ・シャッターマネージメント
- ・セキュリティ
- ・リモコンコード

**こんなときに便利です**

プロジェクターの準備・設置などでうまく投映できないなどのときに、この画面が簡単に問題解決の手助けになります。

※ 表示項目中の「水平周波数」「垂直周波数」は、およその目安です。

# 入力を切り換える

プロジェクターに接続されたコンピュータ、ビデオなどの機器からの入力信号を選択します。

## [INPUT] ボタンで入力を切り換える

### 操作パネルの [INPUT] ボタン

操作パネルの［INPUT］ボタン※を押して、入力を切り換えます。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、「インプット」 メニューで正しい入力信号を選んでください。（下記参照）
※ カードスロットが差し込まれていない「インプット」は選択できません。

[INPUT] ボタン

操作パネル

[INPUT] ボタン

リモコン

[INPUT1/2/3/4] ボタン

※ ボタンを押すたびに切り換わります。

### リモコンの [INPUT1/2/3/4] ボタン

リモコンの［INPUT 1/2/3/4］ボタンで入力を選択することができます。☞ 38 ページ

## [INPUT] メニューで入力を切り換える

**1** [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。

**2** [ポイント] ボタンの上下でポインタを投映したい入力に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「インプット」が切り換わります。

**3** もう一度 [SELECT] ボタンを押すと信号選択メニューが現れます。

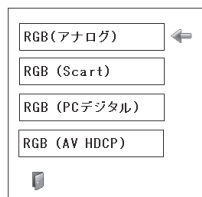
**4** [ポイント] ボタンの上下でポインタを映したい信号に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

※ カードスロットが差し込まれていない「インプット」は選択できません。

インプット メニュー

ポインタを合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。



| | |
|---|---|
| **RGB（PC アナログ）** | INPUT 1 の [ANALOG] 端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。 |
| **RGB（Scart）** | INPUT 1 の [ANALOG] 端子に、映像機器の SCART 映像出力＊が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。 |
| **RGB（PC デジタル）** | INPUT 1 の [DIGITAL(DVI-D)] 端子に、コンピュータのデジタル信号が接続されているときに選択します。 |
| **RGB（AV HDCP）** | INPUT 1 の [DIGITAL(DVI-D)] 端子に、HDCP 対応のデジタル映像信号が接続されているときに選択します。 |

＊ SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子の RGB 出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの [INPUT 1 ANALOG IN] を専用のケーブルで接続します。[INPUT 1 ANALOG IN] で再生される RGB SCART 信号は、480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

## インプット2

**RGB**

INPUT 2の［R,G,B,H/V,V］のBNC端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

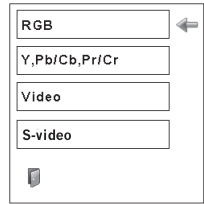
**Y,Pb/Cb,Pr/Cr**

INPUT 2の［Y,Pb/Cb,Pr/Cr］のBNC端子に、コンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。

**Video**

INPUT 2の［VIDEO/Y］のBNC端子に、ビデオ信号が接続されているときに選択します。

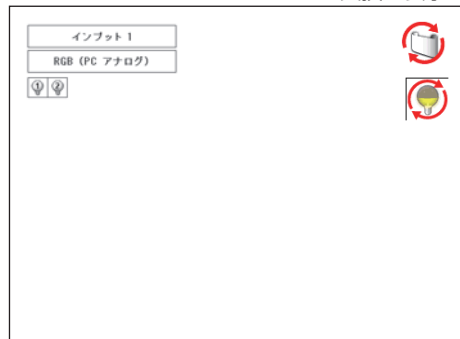
**S-video**

INPUT 2の［S-VIDEO］端子に、S映像信号が接続されているときに選択します。

### エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

インプットを切り換えたあとに、プロジェクターの状態により、「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。

 89、92ページ

※ 表示は約4秒間出ます。

フィルター警告とランプ交換の表示

# コンピュータシステムの選択

## システムモードが自動選択されます

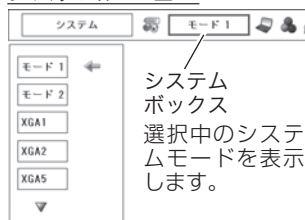
**（マルチ スキャン システム）**

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステム モード (VGA、SVGA、XGA、SXGA･･･) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投映することができます。☞ 106 ～ 109 ページ
選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

**システムメニュー**

システム　モード 1

モード 1
モード 2
XGA1
XGA2
XGA5

システムボックス
選択中のシステムモードを表示します。

※ システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

**システムボックスに表示されるメッセージ**

**Auto**

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合､自動 PC 調整機能が働き､システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投映されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。
☞ 54 ～ 56 ページ

**----**

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。
☞ 18、27 ページ

**モード 1**

マニュアルで登録された「カスタムモード」が選択されたとき表示されます。

## システムモードをマニュアルで選択するとき

「カスタムモード※」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

1. ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。

2. ［ポイント］ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて［SELECT］ボタンで選んでください。

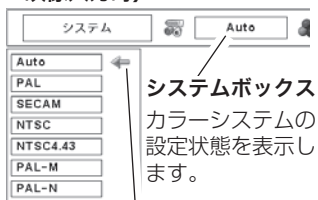
※ カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。 ☞ 54 ～ 56 ページ

# ビデオシステムの選択

**1** ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「システム」メニューに合わせます。

**2** ポインタを入力信号に合ったカラーシステムまたは走査方式に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。

**システム メニュー（コンポジット映像またはＳ映像入力時）**

**システムボックス**
カラーシステムの設定状態を表示します。

ポインタを入力信号に合ったカラーシステムに合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

## VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

### Auto（自動）

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

### PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

## コンポーネント入力選択時

### Auto（自動）

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

### コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、メニュー の中から正しい走査方式を選んでください。

システム
Auto
Auto
1080i
1035i
720p
575p
480p
575i
480i

# コンピュータシステムの調整

## 自動 PC 調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の４項目を自動調整することができます。

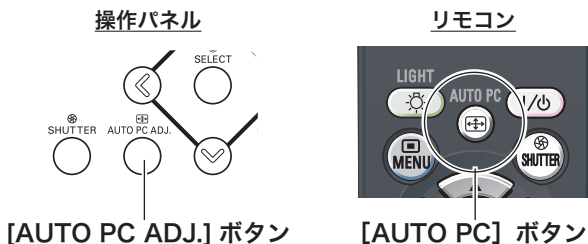
### リモコンのダイレクトボタンで調整する

操作パネルの [AUTO PC ADJ.] または、リモコンの[AUTO PC]ボタンを押します。

**操作パネル**

[AUTO PC ADJ.] ボタン

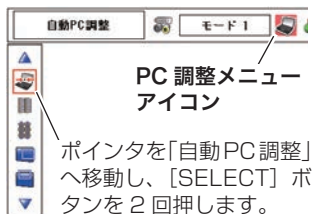
**リモコン**

[AUTO PC] ボタン

## メニューから調整する

### 自動 PC 調整

**1** [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。

**2** [ポイント] ボタンの上下でポインタを「自動 PC 調整」に合わせて [SELECT] ボタンを押すと、PC 調整画面が出ます。[SELECT] ボタンをもう一度押して、自動調整を実行させます。

**PC 調整メニュー**

※ 自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。
☞ 54 ～ 56 ページ
※ 自動調整した内容を一度登録しておくと、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、次ページの「マニュアル PC 調整の手順 **3**」をご覧ください。
※ システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、自動 PC 調整機能ははたらきません。
※ 入力信号がデジタルの時は「PC 調整」メニューは選択できません。
※ ご使用のコンピュータまたは、信号の種類によっては、正しく映らないときがあります。

## マニュアル PC 調整（「カスタムモード」を登録する）

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「Auto」と表示され、画像が正しく投映されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。「カスタムモード」は 10 個まで登録することができます。

※ 入力信号がデジタルのときは「PC 調整」メニューは選択できません。

**手　順**

**PC 調整メニュー**

**1** [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。

**2** [ポイント] ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、[SELECT] ボタンで選択します。選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。

**3** リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

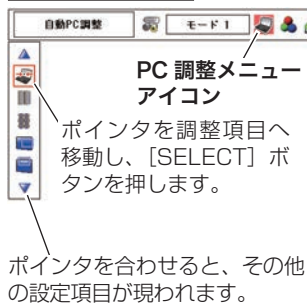
③ ポインタが「PC 調整」メニューの に移動します。

データ消去

① ポインタを「データ消去」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「PC 調整データ消去」メニューが現われます。

② 消去したいモード（「モード 1 から 10」のいずれか）にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、「カスタムモード」の登録が解除され、「PC 調整データ消去」メニューへ戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、[SELECT] ボタンを押すと「データ消去」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すと「PC 調整データ消去」メニューへ戻ります。消去したいモードを選び直してください。

## PC 調整データ消去メニュー

① 次ページへは 1 にポインタ（⑩）があるときは［ポイント］ボタン上を、2 にポインタがあるときは［ポイント］ボタン下を押します。
② カスタムモードが登録されています。
③ 何も登録されていません。
④ 総ドット数
⑤ ポジション H
⑥ ポジション V
⑦ 画面領域 H
⑧ 画面領域 V
⑨ このメニューを閉じます。
［ポイント］ボタン右で選択し［SELECT］ボタンを押します。
⑩ ポインタ

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「PC 調整データ登録」メニューが現われます。
② 登録したいモード（「モード 1 から 10」のいずれか）にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
③「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「カスタムモード」へ登録され「PC 調整データ登録」メニューへ戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、［SELECT］ ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。
※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC 調整データ登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

## PC 調整データ登録メニュー

メニューを終了します。

**項　目**

## トラッキング

トラッキング（同期）がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。（0 から 31 まで）

※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

## 総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

## ポジションH

画面の水平方向の位置を調整します。

## ポジションV

画面の垂直方向の位置を調整します。

## コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

**コンピュータ情報**

## クランプ

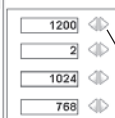
クランプ位置を調整します。
投映している映像に暗い線が出ているときに使います。

## 画面領域 H

水平解像度を調整します。
［ポイント］ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

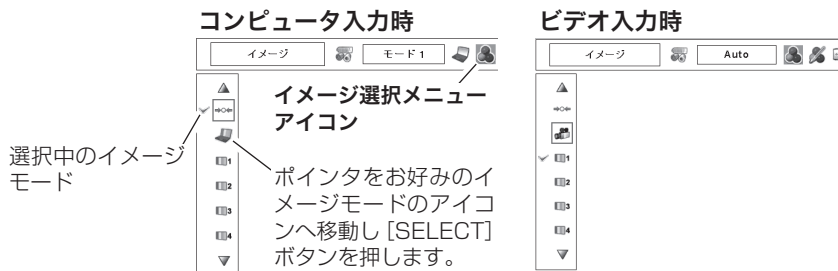
## 画面領域 V

垂直解像度を調整します。
［ポイント］ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※ システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i のシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H/V」の調整はできません。

# イメージの調整

## イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

**1** ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。

**2** ［ポイント］ボタンの上下で、ポインタをお好みの「イメージモード」に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。

### リアル

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。　※ コンピュータ入力時のみ選択できます。

### シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。
※ビデオ信号入力時のみ選択できます。

### イメージ 1～10

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
※ コンピュータ、ビデオの各信号入力で別々に記憶できます。

# マニュアルでイメージ調整を行なう

**手　順**　※ リモコンの［ADJ.(IMAGE ADJ.)］ボタンでもメニューを表示できます。

**1** ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で、ポインタを「イメージ調整」メニューに合わせます。

**2** ［ポイント］ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

**3** リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

② 「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

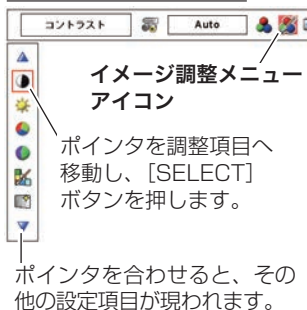
③ ポインタが「イメージ調整」メニューの に移動します。

メモリー　※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが現われます。

② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③ 「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。（ポインタは を指しています。）さらに、［SELECT］ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

メニューを終了します。

**項　目** ［ポイント］ボタンの左（◀）右（▶）で調整します。

◀ うすくなる　▶ こくなる（0 ～ 63）

## 明るさ

◀ 暗くなる　▶ 明るくなる（0 ～ 63）

## 色の濃さ

◀ うすくなる　▶ こくなる（0 ～ 63）

※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。

## 色合い

◀ 紫がかる　▶ 緑がかる（0 ～ 63）

※ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。

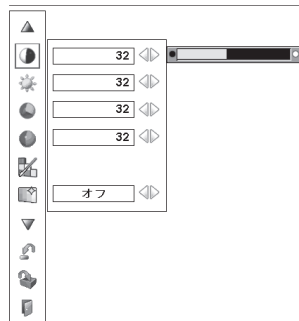
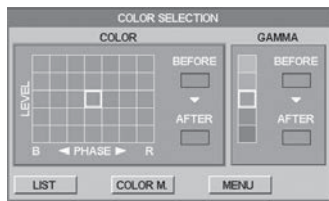
※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

## カラーマネージメント

投映している画像の色を、お好みの色に調整します。

1. ［SELECT］ボタンを押すと画像が静止して、無色のカーソルが画面中央に表示されます。

2. ［ポイント］ボタンの上下左右でカーソルを調整したい色の上に移動させ、［SELECT］ボタンを押すと、「COLOR SELECTION」メニューが現れます。

3. ［ポイント］ボタンの上下左右でカーソルを「COLOR」の中を移動させ、調整後に表示させたい色を選択し［SELECT］ボタンを押します。自動的に「GAMMA」調整に移動します。

**4** ［ポイント］ボタンの上下で、調整後に表示させたい色を選択し［SELECT］ボタンを押します。自動的に「LIST」ボタンに移動します。

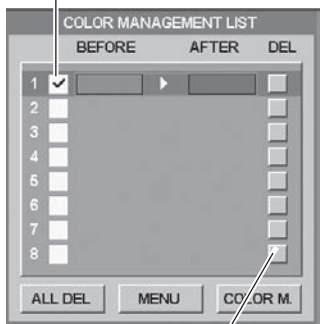
- **LIST** ・・・・・「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示されます。
- **COLOR M.** ・・調整を中止し無色のカーソルの表示まで戻ります。
- **MENU** ・・・・カラーマネージメントモードから抜けます。

※ 項目を選んで［SELECT］ボタンを押すと、実行されます。

**5** 「LIST」ボタンを押すと「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示され、調整した色を保存することができます。

- **ALL DEL** ・・・保存されたすべてのリストが削除されます。
- **MENU** ・・・・「COLOR MANAGEMENT」から抜け、「イメージ調整」メニューまで戻ります。
- **COLOR M.** ・・調整を保存し、新たに無色のカーソルが表示され、調整を続けることができます。

※ 項目を選んで［SELECT］ボタンを押すと、実行されます。

［ポイント］ボタン左で選択し［SELECT］ボタンを押すとチェックが外れます。

［ポイント］ボタン右で選択し［SELECT］ボタンを押すと削除できます。

PC とビデオで合計 8 件の保存ができます。

## 自動画質補正

映像の暗い部分のコントラストを強調します。

［ポイント］ボタン右で、**オフ** ➔ **L1** ➔ **L2** の順でより強く強調されます。

※ 工場出荷時は **L1** に設定されています。

## 色温度

◀超低へ　▶高へ（超低ー低ー中ー高）

※ 超低（赤みがかる）〜高（青みがかる）

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。

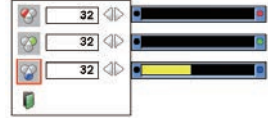
※ 「ホワイトバランス」（赤 / 緑 / 青のどれか 1 つでも）の調整をすると「調整中」と表示されます。

## ホワイトバランス(赤 / 緑 / 青)

◀うすくなる　▶こくなる（各色 0 ～ 63）

## オフセット(赤 / 緑 / 青)

映像の中の暗い部分の「赤 / 緑 / 青」を調整することができます。(各色 0 ～ 63)

[SELECT] ボタンを押すと、調整バーが表示されます。[ポイント] ボタンの左右で調整します。

## 画質

◀やわらかい　▶くっきり（0 ～ 31）

## ガンマ補正

[ポイント] ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。
(0 ～ 15)

## ノイズリダクション

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

**オフ**・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

**オン**・・・ノイズの多い映像を見るとき「オン」にすると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

※ ビデオ信号入力時のみ設定できます。

## プログレッシブ

**オフ**・・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

**オン**・・・・プログレッシブスキャンを「オン」にします。

**フィルム**・・「3-2 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投映するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

※「プログレッシブ」は以下のときに設定できます。
・ビデオ信号入力：480i、575i、1035i、1080i
※ システムメニューで 1080i、1035i の信号を選択しているときは「フィルム」を選択できません。
※「オン」「オフ」「フィルム」の切り換えの際、一瞬画像が乱れます。

# 画面サイズの調整

お好みにより、画像サイズを変えることができます。

**1** [MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント］ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューに合わせます。

**2** [ポイント］ボタンの上下で選択したい項目に合わせ、[SELECT］ボタンで決定します。

## 画面サイズの選択（コンピュータ入力時）

画像を有効投映画面注）の高さに合わせて投映します。

※ ビデオの「ノーマル」も同じです。

注）1366 × 800 ドット

ノーマル

※ 表示は約 4 秒間出ます。

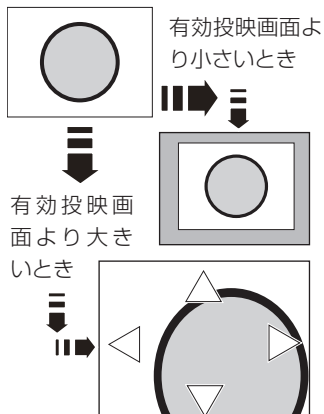
画像をオリジナルサイズで投映します。

① 画像サイズが有効投映画面注）よりも小さいときは、画面の中央に投映し、画面左上に「リアル」の表示が現れます。

② 画像サイズが有効投映画面注）と同じときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れますが、その後「ノーマル」で投映されます。

③ 画像サイズが有効投映画面注）よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れ、画面の上下左右に△が表示されます。[ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。

※ 「リアル」を選択しているとき、「デジタルズーム　＋・－」は選択することができません。

**リアル**

※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。

※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

注）1366 × 800 ドット

## フル

フルスクリーンサイズで投映します。
※ ビデオの「フル」も同じです。

## デジタルズーム ＋

「デジタルズーム＋」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.zoom ＋」表示が現われます。
［SELECT］ボタンを押すごとに画像が拡大します。
［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。
画像の移動機能は、画像サイズが有効投映画面注）よりも大きいときのみはたらきます。

## デジタルズーム －

「デジタルズーム　－」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.zoom －」表示が現われます。
［SELECT］ボタンを押すごとに画像が縮小します。

※「カスタム」モードのときは「デジタルズーム　－」は無効になります。

※「デジタルズーム」モードから抜けるときは、［D.ZOOM、SELECT、ポイント］以外のボタンを押します。
※「ノーマル」モードへもどるときは、ポインタを「ノーマル」モードに合わせ［SELECT］ボタンを押します。
※ 本機は UXGA（1600 × 1200 ドット）を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度が UXGA (1600 × 1200 ドット ) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
※ 有効投映画面注）以外の画像データは、初期画面で有効投映画面注）に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
※ PC 調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム －」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらかないことがあります。
※ システムモード（☞ 51 ページ）で「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン」調整が最大値のとき、「デジタルズーム －」が正しくはたらかないときがあります。
※ 入力信号がないとき、「リアル・フル・デジタルズーム +/ －」は選択できません。「カスタム」は選択できますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整できません。

「カスタム」は次ページ

## 画面サイズの選択（ビデオ入力時）

### ズーム

アスペクト比横４：縦 3L.B（レターボックス）の入力信号が、横幅いっぱいになるように均等に拡大します。
※ ビデオの４：３の信号のときのみ有効です。４：3L.B の信号の時に選択すると最適な映像になります。

### ピッタリワイド

アスペクト比横４：縦３ の映像を横 16：縦９にして投映します。
中心部はあまり変えずに左右を拡大し自然な映像になるように投映します。
※ ビデオの４：３の信号のときのみ有効です。

### ワイド

DVD プレーヤ等のワイドモードで出力された映像信号を、アスペクト比横 16：縦９ のワイド画面で投映します。

**スクリーンメニュー（ビデオ）**

※ 「システム」メニューで「1035i/1080i/720p」を選択しているときは「ズーム・ピッタリワイド・ワイド」は選択できません。
※「ノーマル・フル」はそれぞれ、コンピュータの「ノーマル（☞ 63 ページ）・フル（☞ 64 ページ）」と同じです。

## 画面サイズの選択（コンピュータ・ビデオ共通）

### カスタム

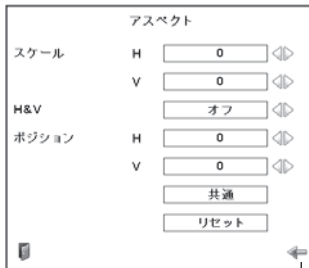
水平と垂直の、スケールおよび位置を調整します。

#### カスタムの調整画面を表示させるには

「カスタム」を選択し［SELECT］ボタンを押すと､「カスタム」の表示が現れ、メニューバーが消えるので、もう一度［MENU］ボタンを押して、メニューバーを表示させ、「スクリーン」メニューから「カスタム」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「アスペクト調整」画面が現れます。

**スケール　H/V**

垂直および水平のスケールを調整します。［ポイント］ボタンの左右で調整します。

**カスタムのアスペクト調整画面**

［ポイント］ボタンの上下で項目を移動し、［ポイント］ボタンの左右で、調整します。

**H&V**

垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケール調整をするときに「オン」を選択します。

※「スケール　H」で調整し､数値の変化に合わせて「スケール　V」の数値も変化します。

**ポジション　H/V**

垂直および水平の位置を調整します。[ポイント] ボタンの左右で調整します。

**共通**

調整した内容を全ての入力(「インプット」)に反映します。**

[SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと登録されます。

** 例えば、コンピュータ入力で「スケール H」を「0」から「2」に変えて登録したとき、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「スケール H」に「2」が表示されている、ということです。

**リセット**

調整した内容を全てリセットします。

[SELECT] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すとリセットされます。

※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。
※ 無信号時に「カスタム」の選択はできますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整することはできません。
※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。

## キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。☞41 ページ

66 ページの手順「*1* ～ *2*」に続いて、

***3*** [ポイント] ボタンで「リセット」または「メモリー」を選択し、[SELECT] ボタンを押します。画面からメニューバーが消えてキーストーン調整モードに入り「キーストーン」表示が現われます。

***4*** 表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

[ ポイント ] ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。
[ ポイント ] ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。
[ ポイント ] ボタン左・・・画面左部の高さが縮みます。
[ ポイント ] ボタン右・・・画面右部の高さが縮みます。

キーストーン 

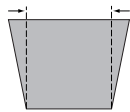
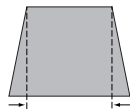
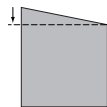
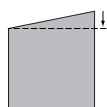
※ 表示は約 10 秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。
※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。
※ この表示が現れているあいだに、[KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
※ キーストーン調整後に、天吊りを「オン」すると、補正前の状態に戻ります。

## キーストーン（つづき）

「メモリー」、「リセット」は以下のはたらきをします。

**メモリー** ・・・主電源スイッチを切る、または電源コードを抜いても、調整した状態を記憶します。

**リセット** ・・・主電源スイッチを切る、または電源コードを抜くと、調整した状態がリセットされます。

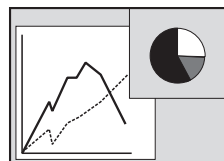
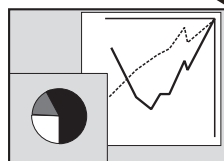
※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

ポイントボタン上

ポイントボタン下

ポイントボタン左

ポイントボタン右

## 天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

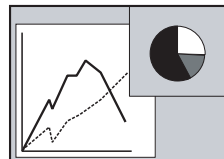
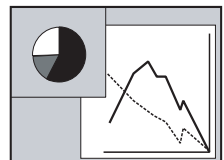
※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

**天吊り機能**

**オフ ( 通常の画像 )**

**オン ( 天吊り設定時 )**

## リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。
透過型スクリーンの後ろから投映するときに設定します。

**リア投映機能**

**オフ ( 通常の画像 )**

**オン ( リア投映設定時 )**

## リセット

「スクリーン」メニュー内の設定したすべての内容が工場出荷時に戻ります。

① ポインタを「リセット」に合わせ、[SELECT] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し [SELECT] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [SELECT] ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。（ポインタは に移動します。）

※ リモコンの [SCREEN] ボタンを約 5 秒以上押しても、リセットされます。

# 各種機能の設定

## 「セッティング」メニューで各種機能の設定をする

手　順

**1** ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「セッティング」メニューに合わせます。

**2** ［ポイント］ボタンの上下でポインタを設定する項目に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
選んだ項目の設定画面が現われます。

セッティング メニュー

### 言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の 12 か国語の中から選べます。

［ポイント］ボタンの上下で選択し、［SELECT］ボタンを押します。

### メニュー

オンスクリーンメニューの表示についての設定を変えることができます。

［SELECT］ボタンを押すと、選択画面が表示されます。［ポイント］ボタンの上下で選択します。

### ポジション

メニューが表示される位置を調整する機能です。[ポイント] ボタン右、下でお好みの位置に表示させることができます。

※ 約 10 秒間表示されます。
※ 最大まで移動すると矢印の色が赤に変わります。

### シンプルメニュー

この機能を「オン」にすると、「イメージ調整」メニュー内の下記項目の調整メニューで、調整値を示す表示だけが表示されるようになります。
調整値がすぐ反映されるようになります。
投映中の画面を見ながら調整したいときに、メニュー表示で隠れる部分が少なくなり、便利です。

- コントラスト
- 明るさ
- 色の濃さ
- 色合い
- ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）
- オフセット（赤 / 緑 / 青）
- 画質
- ガンマ補正

## オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

**オフ** ・・・以下の画面表示以外は出しません。

- メニューバー表示 46 ページ
- 電源を切るときの、「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示 34 ページ
- P-TIMER 表示 42 ページ
- 自動 PC 調整の「しばらくお待ち下さい」の表示
- パワーマネージメント時のタイマー表示
- 画面サイズが大きいとき表示される「△」の矢印 63 ページ
- 「インフォメーション」の表示 47 ページ
- 「D.zoom +」の矢印表示 64 ページ

**オン** ・・・すべての画面表示を出します。
ある程度投映画面が明るくなってから、映像を映したいときに選択します。

**カウントダウンオフ** ・・・
ランプ点灯後 20 秒のカウントダウンを表示せず、すぐに投映します。
投映画面が少し暗くても早く映像を映したいときに選択します。

## バックグラウンド

信号のないときの背景画面（「青 / ユーザー / 黒」）を選択します。

※ 画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずに選択した画面を映します。
※「ユーザー」はキャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。
※ キャプチャー画像が無いときは、「ユーザー」は選択できません。

## ロゴ

ロゴ選択、画面のキャプチャー、ロゴ選択の暗証番号の設定をします。

※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のときは、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。

### ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

［ポイント］ボタンの左右で設定します。

**ユーザー** ・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

**初期設定** ・・・工場出荷時の設定を表示します。

**オフ** ・・・・・ ロゴ表示を画面に出しません。

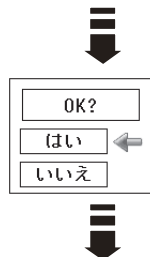
※ キャプチャー機能で取り込んだ画像がないときは、「ユーザー」は選択できません。

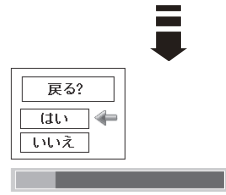
### キャプチャー

投映している画面を静止画像として取り込むことができます。
取り込んだ画像はスタートアップロゴ（「ロゴ選択」）や、背景画面（「バックグラウンド」）に設定することができます。

*1* ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

**はい** ・・・・画面の取り込みを始めます。

**いいえ** ・・・ キャプチャー機能を取り消します。

キャプチャー（つづき）

*2* 「はい」を選択すると、取り込みを始めます。
取り込みの進行を示すバーが現れます。
取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。
このとき、取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」の「はい」＊を選択し［SELECT］ボタン押します。

**ご注意 ＊**
「戻る？」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像の登録も削除されます。

※ 「ユーザー」へ保存できるのは１画面のみです。
※ 適切な画面を取り込むために、イメージモードは標準を選択しておいてください。
※ 画像を取り込むときは「キーストーン」調整を一時的に解除します。
※ この機能が使えるのは以下の信号のときです。
コンピュータ・・・WXGA 以下（ただし、「画面領域 H」を 1366 以上、「画面領域 V」を 800 以上に設定すると不可）
ビデオ・・・コンポジット、S ビデオ、480p、575p、480i、575i、720p、1080i

## ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を暗証番号を持つ管理者以外できなくします。設定により以下のモードが選択できます。

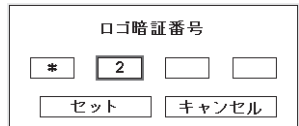
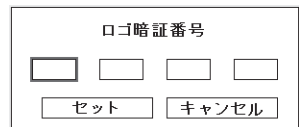
**オン** ・・・暗証番号を入れないと「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。

**オフ** ・・・暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

**手　順**

*1* ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ロゴ暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が現れます。
※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面は表示されます。

*2* 暗証番号を入力します。
※ 次ページの「暗証番号の入力方法」を参照してください。

*3* 暗証番号が承認されると、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オン・オフ」は［ポイント］ボタンの左右で切り換え、選択します。
暗証番号の変更は 73 ページを参照してください。

ロゴ暗証番号ロック（つづき）

*4* 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

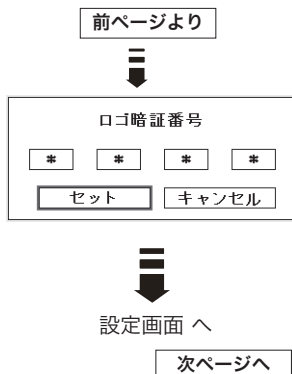
### 暗証番号の入力方法

*1* ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、[ ポイント ] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、４けた全ての数字を入力します。

*2* ４けた全ての数字を入力したらポインタを [ ポイント ] ボタン右で「セット」に移動します。

*3* [SELECT] ボタンを押して決定します。

*4* 正しく入力されていると、「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。上記「手順 *3*」

※ 工場出荷時のロゴ暗証番号の数字は、「4321」です。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、[ ポイント ] ボタン上下で数字を選び直します。
※「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号ロック」の選択画面に移動します。

ロゴ暗証番号ロック（つづき）

### 暗証番号を変更する

**1** ［ポイント］ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します

**2** [ポイント] ボタンの上下で０～９の数字を選択し、[ ポイント ] ボタン右でポインタを２けた目に移動します。この操作を繰り返し、４けた全ての数字を入力します。

**3** ４けた全ての数字を入力したらポインタを [ ポイント ] ボタン右で「セット」に移動します。

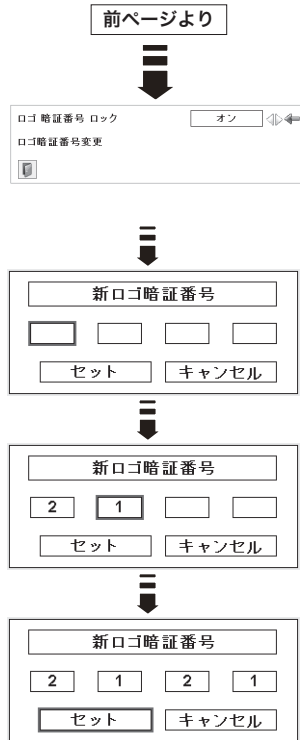
※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

**4** [SELECT] ボタンを押して決定します。

**5** さらに「OK?」の表示が現れますので、[ ポイント ] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

**6** 「ロゴ暗証番号ロック」メニューの画面まで戻ります。



### メモ

- 入力を中断し、この機能の操作をやめるときは［ポイント］ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。「ロゴ暗証番号変更」メニューの画面まで戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、[ ポイント ] ボタンの上下で数字を選び直します。
- 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
  - 「ロゴ暗証番号」と入力した数字 ( 見た目は「＊」) が赤く表示された。
  - 「ロゴ暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。

## ランプモード

本機にはランプが 2 灯搭載されていますが、プロジェクターを使う場所によってランプを 2 灯点灯と、1 灯点灯に切り換えて使うことができます。あまり明るい画面を必要としない投映や、投映場所が比較的暗い場所では 1 灯点灯でご使用ください。

2 灯 ・・・2 灯のランプを点灯させます。

1 灯 ・・・1 灯のランプを点灯させます。

※ 2 個のランプが正常で 1 灯点灯させたとき、2 個のランプで積算点灯時間が短い方のランプを自動検出し、そのランプを優先して点灯させます。
※ 2 灯から 1 灯へ切り換えた場合、ランプが 1 灯へ切り換えられ、少し暗くなります。1 灯から 2 灯へ切り換えた場合は、ランプ点灯準備のためすぐに明るくならず、約 60 秒後に 2 灯点灯の明るさになります。
※ 2 灯から 1 灯へ切り換えた後再び 2 灯へ切り換える場合や、1 灯から 2 灯へ切り換えた後再び 1 灯へ切り換える場合、約 90 秒間はランプ点灯準備のため切り換えができません。

### ランプが不点灯になったら

•「2 灯」のとき：2 個のランプのうち 1 灯が寿命または故障で不点灯になると、自動的に 1 灯のみの点灯に切り換わります。（ランプステータス表示で不点灯のランプに X マークが付きます）
•「1 灯」のとき：1 灯点灯時に、2 個のランプのうち 1 灯が寿命または故障で不点灯になると、自動的に点灯可能な方のランプに切り換わります。
※ [LAMP 1(2) REPLACE] インジケータが点滅し、どちらのランプに異常が起きたのかをお知らせします。
※ 両方のランプが不点灯になると、電源が切れます。

## ランプコントロール

ランプの明るさを「ノーマルモード」､「オートモード」､「エコモード」の 3 段階で切り換え・選択することができます。
ご使用環境に合ったモードを選択・ご使用ください。

明るい表示に「A」・・・オートモード

明るい表示・・・ノーマルモード

上部がグレーの表示・・・エコモード

※ ［ポイント］ボタン右で ➔ ➔ の順に表示が切り換わります。
※「オート」モードは調光回路が働いて、映像に最適な明るさに自動的に調整します。
※ 消費電力を抑えたいときには「エコ」モードをおすすめします。

##  フィルター制御

エアフィルターを巻き取る機能です。「はい」を選択するとエアフィルターを 1 回分巻き取ります。

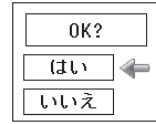
※ 巻き取りを行なうと、フィルター使用時間（☞ 84 ページ）は自動的に「0」時間に戻ります。

*1* ［ポイント］ボタンの上下で、ポインタを「フィルター制御」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

**はい** ・・・・エアフィルターを 1 回分巻き取ります。

**いいえ** ・・・「メニュー」に戻ります。

※ エアフィルターカートリッジの端の部分に巻き取った残りが見えることがありますが、正しく巻き取られていますので、ご使用には問題ありません。

※ エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときは ! が表示され、巻き取りは行なわれません。

### ご注意

- 「はい」を選択すると、エアフィルターが汚れていなくても巻き取られます。
- 9 回巻き取ったら、新しいエアフィルターカートリッジに交換してください。
- エアフィルターの目詰まりを感知すると自動的に 1 回巻き取りを行ないます。
- 巻き取っている最中に電源が切れるなど、途中で動作が止まったときは、再び電源が入ったときに、残った部分の巻き取りを行ないます。
- エアフィルターの巻き戻しはできません。

###  リモコンの［FILTER］ボタンでも巻き取ることができます

リモコンの［FILTER］ボタンを約 5 秒以上押すと画面中央に右図が表示され、エアフィルターを 1 回巻き取ります。

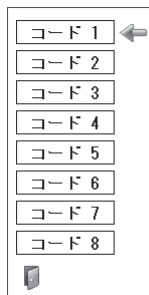
##  ファン制御

冷却ファンの回転速度を切り換えることができます。

**ノーマル** ・・・お買い上げ時の設定です。通常はこちらでご使用ください。

**マックス** ・・・周辺温度が高いときなど、通常より冷却力を高めたいときに選択します。ファンの音は「ノーマル」より大きくなります。

## リモコンコード

本機は８種類のリモコンコード（「コード１」～「コード８」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。
工場出荷時は「コード１」に設定されています。
リモコンコードを他のコード（「コード２～コード８」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。
プロジェクターのリモコンコードを切り換えるにはメニューのリモコンコードを選択し、設定するリモコンコードを選択します。リモコンのコードの切り換えは、リモコン本体で行ないます。（☞ 24 ページ）

## リモコン受光部

プロジェクター本体にある、リモコン受信部の、有効･無効を切り換えることができます。

**両方** ・・・本体前後にある両方の受信部を有効にします。

**前** ・・・本体前にある受信部のみ有効にします。

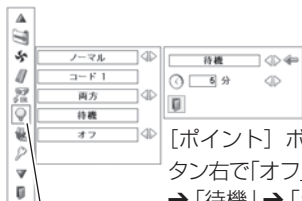
**後** ・・・本体後ろにある受信部のみ有効にします。

## パワーマネージメント

パワーマネージメント機能の動作設定を行ないます。

**オフ** ・・・ パワーマネージメント機能を解除します。

**待機** ・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると［READY］インジケータが緑の点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投映されます。

**シャットダウン** ・・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

［ポイント］ボタン右で「オフ」➔「待機」➔「シャットダウン」の順に表示が切り換わります。

［SELECT］ボタンを押して設定画面に入ります。

### タイマーの設定

- ［ポイント］ボタンの左右でパワーマネージメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1 ～ 30 分の範囲で設定できます。
- パワーマネージメント動作詳細については 35 ページを参照してください。

入力信号なし
04 : 50

ランプ消灯までの時間

※ 工場出荷時は「待機・5 分」に設定されています。
※ 「FREEZE（☞ 42 ページ）、SHUTTER（☞ 43 ページ）」機能がはたらいているときは、パワーマネージメントは動作しません。
※ パワーマネージメントがはたらくと、「P-TIMER（☞ 42 ページ）」はリセットされます。

## オンスタート

主電源スイッチが「オン」の状態で、電源コードを接続すると、リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押さなくても、自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

**オン** ・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

**オフ** ・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

**電源オン・オフは正しい操作で行なってください。**

ランプの冷却が終わり再点灯できる状態になるまで、リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。

## セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

***1*** ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「セキュリティ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、項目を選択する画面が現れます。

***2*** ［ポイント］ボタンの上下で項目を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、設定画面が現れます。
※ 設定の詳細は、各項目を参照してください。

### キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

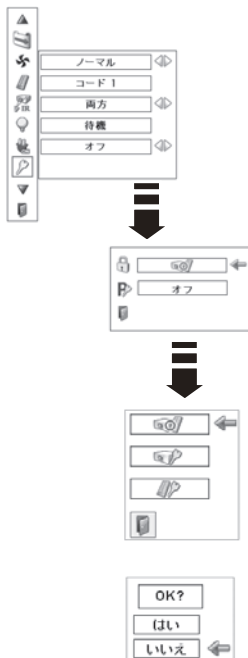
 ・・・キーロックは「オフ」の状態です。
 ・・・リモコンの操作をロックします。
・・・操作パネルからの操作をロックします。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。
※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

**手　順**

上記「***1*** ～ ***2***」に続いて、

***3*** ポインタをいずれかに合わせ、［SELECT］ボタンを押すと「OK ？」の表示が現れます。

***4*** 「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、登録が完了し、設定画面へ戻ります。
※ 「いいえ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、選択画面に戻ります。設定する項目を選び直してください。

## 暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。
設定により以下のモードが選択できます。

**オフ** ・・・「暗証番号ロック」を解除します。通常の操作をすることができます。

**オン 1** ・・・電源を入れるときに暗証番号が要求されます。

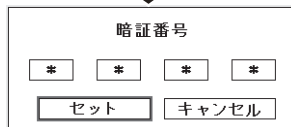
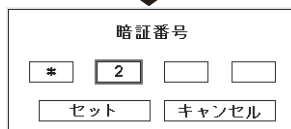
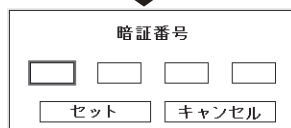
**オン 2** ・・・一度入力した暗証番号は、一度電源コードを抜く、または主電源スイッチを切るまで有効です。リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ (ON/STAND-BY)］ボタンで電源の入り・切りをするだけで、主電源スイッチを切ったり、電源コードを抜かないときは、暗証番号が要求されることなく、通常の操作をすることができます。

**手　順**

前ページ「*1* ～ *2*」に続いて、

*3* ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと暗証番号を入力する画面が現れます。

*4* 暗証番号を入力します。
※ 次ページの「暗証番号の入力方法」を参照してください。

*5* 暗証番号が承認されると、「暗証番号」の「オン 1・オン 2・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オン 1・オン 2・オフ」は［ポイント］ボタンの左右で切り換え、選択します。
暗証番号の変更は 81 ページを参照してください。

*6* 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを 🚪 に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

**暗証番号の入力方法**

**1** ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、[ ポイント ] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。（1 けた目の表示が「＊」に変わります。）この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。

**2** 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ ポイント ] ボタン右で「セット」に移動します。

**3** [SELECT] ボタンを押して決定します。

**4** 正しく入力されていると、「暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。☞前ページ「手順 ***5***」へ

※ 工場出荷時の暗証番号は、「1234」です。
※ 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、[ ポイント ] ボタン上下で数字を選び直します。
※ 「キャンセル」にポインタを合わせて [SELECT] ボタンを押すと、「暗証番号ロック」の選択画面に移動します。

**暗証番号を変更する**

*1* ［ポイント］ボタンの上下で「暗証番号変更」を選択し、[SELECT] ボタンを押します

*2* ［ポイント］ボタンの上下で０～９の数字を選択し、[ ポイント ] ボタン右でポインタを２けた目に移動します。この操作を繰り返し、４けた全ての数字を入力します。

*3* ４けた全ての数字を入力したらポインタを [ ポイント ] ボタン右で「セット」に移動します。

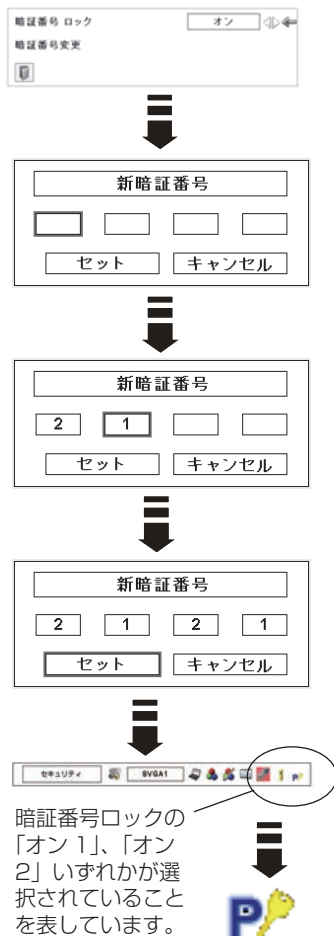
※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

*4* [SELECT] ボタンを押して決定します。

*5* さらに「OK?」の表示が現れますので、[ ポイント ] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[SELECT] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

*6* 「暗証番号ロック」の選択画面に戻ります。

暗証番号ロックの「オン 1」、「オン 2」いずれかが選択されていることを表しています。

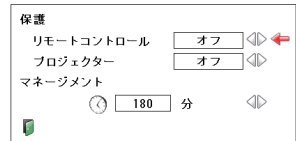
**メモ**

- 入力を中断し、この機能の操作をやめるときは［ポイント］ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、［SELECT］ボタンを押します。「暗証番号変更」メニューの画面まで戻ります。
- 数字の入力をやり直したいときは、［ポイント］ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、数字ボタンまたは [ ポイント ] ボタンの上下で数字を選び直します。
- 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
  - 「暗証番号」と入力した数字 ( 見た目は「＊」) が赤く表示された。
  - 「暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。

## プロジェクター ID

RS-232C シリアル通信のプロジェクター ID の設定をします。［ポイント］ボタンの左右でプロジェクター ID (1 ～ 999) を設定します。

※ 工場出荷時は「1」に設定されています。

## シャッター

シャッターの動作設定をします。
［SELECT］ボタンを押すと設定画面が現れます。
［ポイント］ボタンの上下でポインタを設定したい項目に合わせます。

### 保護

操作ボタンをロックして、シャッター操作をロックすることができます。
［ポイント］ボタンの左右で「オン / オフ」の選択をします。

**リモートコントロール** ・・・「オン」でリモコンの［SHUTTER］ボタンをロックします。

**プロジェクター** ・・・「オン」で操作パネルの［SHUTTER］ボタンをロックします。

### マネージメント

シャッターを閉じてからランプが消灯するまでの時間を設定します。
［ポイント］ボタンの左右で時間を設定します。5 ～ 180 分の範囲で設定できます。

マネージメントが働くとランプを消灯し、プロジェクターは冷却動作に移ります。冷却が完了するとプ、ロジェクターの電源が切れ［READY］インジケータが点灯します。この時冷却動作に入ると同時に［SHUTTER］インジケータは青色で点滅します。冷却が完了し、［READY］インジケータが点灯した後もこの点滅を続けます。プロジェクターの電源を再び入れると点滅は消えます。

※「シャッター」で投映画面が遮断されているときは「パワーマネージメント」は動作しません。
※ 工場出荷時は「180 分」に設定されています。
※ 時間の設定をするのみで、この機能をオフにはできません。

## ランプカウンター

ランプ交換推奨時間を超えると、ランプ換算時間が赤で表示されます。

ランプカウンター（換算時間）をリセットします。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると ［LAMP 1(2) REPLACE］インジケータ ( 橙 ) の点灯、および「ランプ交換」のお知らせ表示が消えます。

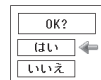
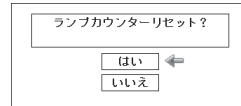
**注意** ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

***1*** ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ランプカウンター」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

***2*** ランプ 1/2 のそれぞれの換算時間が表示されています。［ポイント］ボタンの上下でポインタをリセットしたい方のランプに合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

***3*** 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

***4*** さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

※ポインタは「**2**」の画面にある に戻ります。

### ランプ交換をお知らせする画面表示について

ランプ点灯中にランプ交換推奨時間になったとき、画面右上に表示されます（約 10 秒間）。また、その後、下記の操作をしたときにも表示されます。

- 電源を入れたとき（約 4 秒間表示）
- インプットを切り換えたとき（約 4 秒間表示）

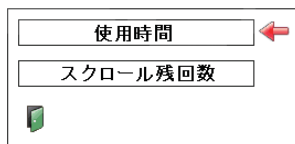
※ 「オンスクリーン表示･オフ」(☞69ページ) に設定しているとき、または、「FREEZE」(☞42 ページ) が動作中のときは、表示されません。
※ [LAMP 1(2) REPLACE] インジケータはランプ点灯中にランプ交換推奨時間になったとき点灯します。スタンバイ時も点灯したままです。☞101 ページ
※ 「ランプカウンター」をリセットすると、これらの表示が消えます。

## フィルターカウンター

エアフィルターについての設定や使用時間のリセットをします。

使用時間
スクロール残回数

*1* ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「フィルターカウンター」に合わせ、[SELECT] ボタンを押します。

*2* 「使用時間」と「スクロール残回数」の項目が現れます。［ポイント］ボタンの上下でポインタを選択・調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

### 使用時間

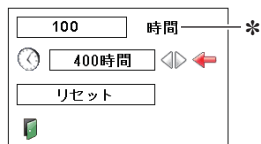
エアフィルターに関して、以下の表示と設定をすることができます。

- 使用時間を表示
- 巻き取り時期をお知らせする時間の設定（右図＊）
- 使用時間のリセット

#### タイマーの設定

ポインタをタイマーに合わせ、[ ポイント ] ボタンの左右で切り換えます。
（オフ /400 時間 /700 時間 /1000 時間）

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。
※ この機能は設定した時間に達したことをお知らせするのみです。エアフィルターを巻き取りたいときは、リモコン ( ☞ 21 ページ ) やメニュー ( ☞ 75 ページ ) から手動で巻き取っていただく必要があります。
※ 設定時間になる前にプロジェクターがエアフィルターの目詰まりを検知したときは、自動的にエアフィルターの巻き取りを行ないます。

**使用時間：タイマーの設定**

＊ 設定時間に達すると数字が赤く表示されます

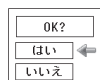
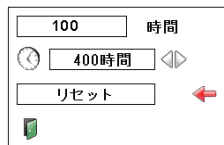
時間に達したときに表示されます。ただし、巻き取り回数の残りが「0」のときは が表示されます。

#### 使用時間のリセット

*1* ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「フィルターカウンターリセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

*2* 「フィルターカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

*3* さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
カウンターがリセットされます。

**使用時間：リセット**

## スクロール残回数

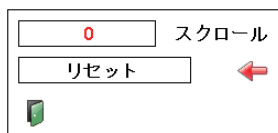
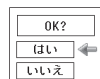
### スクロール残回数

エアフィルターの巻き取り回数の残りを表示します。

### スクロール残回数のリセット

*1* ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「スクロール残回数リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

*2* 「スクロールカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

*3* さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
カウンターがリセットされます。

残りが「0」のときは赤く表示されます

### カウンターのリセットについて

エアフィルターカートリッジ交換後は、必ず「使用時間・スクロール残回数」の両方のカウンターをリセットしてください。
リセットすると［WARNING FILTER］インジケータ（橙）の点灯および、「フィルター警告」のお知らせ表示が消えます。☞ 92、100 ページ

**注意** エアフィルターカートリッジの交換を行なったとき以外はリセットしないでください。

### エアフィルターカートリッジ交換をお知らせする画面表示について

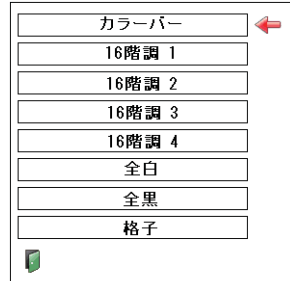
投映中にエアフィルターカートリッジ交換推奨時間になったとき、画面右上に表示されます（約 10 秒間）。また、その後、下記の操作をしたときにも表示されます。

・電源を入れたとき（約 4 秒間表示）
・「インプット」を切り換えたとき（約 4 秒間表示）

※ 「オンスクリーン表示･オフ」（☞ 69ページ）に設定しているとき、または、「FREEZE」（☞ 42 ページ）が動作中のときは、表示されません。
※ ［WARNING FILTER］インジケータはエアフィルターカートリッジ交換推奨時間になったとき点灯します。スタンバイ時も点灯したままです。☞ 92、100 ページ
※ 「フィルターカウンター」をリセットすると、これらの表示が消えます。

## テストパターン

外部からの信号源が無くても、プロジェクター本体に内蔵されたテストパターンを投映することができます。プロジェクターを設置するときに便利です。
「カラーバー、16 階調 1 ～ 4、全白、全黒、格子パターン」の 8 種類の中から選べます。

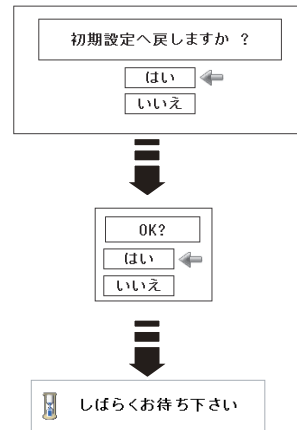
- テストパターンが全画面表示されているときに、[ポイント] ボタンの上下を押すと、その前後のテストパターンに切り換わります。
- テストパターンを終了するときは、[MENU] ボタン、または [SELECT] ボタンを押します。
  ※ テストパターンのメニュー画面に戻ります。

## 初期設定

下記の設定以外を、工場出荷状態に戻します。
- ランプカウンター（点灯時間）
- フィルターカウンター（使用時間·スクロール残回数）
- ロゴ暗証番号ロック
- 暗証番号ロック
- ユーザーロゴ
- ネットワーク設定

※ この設定は電源コードを抜いても有効です。

**ご注意**

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

1. ［ポイント］ボタンの上下で「初期設定」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
2. 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
3. さらに、「OK ？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。

# カードスロット式接続端子の交換

## カードスロット式接続端子の交換のしかた

接続端子の入れ替え可能なカードスロット式接続端子により、端子カードの入れ替えで外部機器またはシステム組み込みに合わせてプロジェクターを使用することができます。

1. 交換する接続端子のネジ 2 本を外します。( 図 1)
2. 接続端子をプロジェクター本体から引き出します。( 図 1)
3. 接続端子をガイドに沿って差し込みます。接続端子のソケットがプロジェクター本体奥のプラグに正しく接続されるように、奥までしっかりと差し込んでください。( 図 2)
4. ネジ 2 本で接続端子を固定します。( 図 2 参照 )

※ 図は DUAL SDI ボードに交換する場合を示しています。

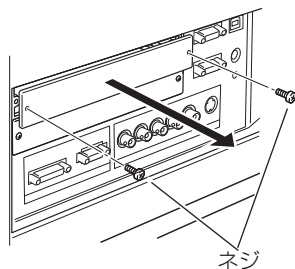



図 1

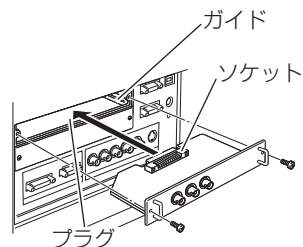



図 2

**ご注意**

接続端子の取り外し、取り付けはプロジェクターの電源を切って行なってください。電源を入れたままで取り付け、取り外しを行なうと、接続端子およびプロジェクター破損の原因となります。

## 別売インターフェイスボード（接続端子）のご使用について

別売のインターフェイスボードをご使用になるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。販売店にご相談頂くときには、プロジェクターの「オプションコントロールナンバー」もご連絡ください。
「オプションコントロールナンバー」は「インフォメーション」メニューを選択すると現れる画面の左下部に表示されています。（下図参照）

※ 関連操作メニュー（☞ 47ページ）を参照してください。

オプションコントロールナンバー
Option control No. 9
↑
このナンバーをご連絡ください。

# ランプの交換

## [LAMP 1(2) REPLACE] インジケータと[ランプ交換] 表示について

[LAMP 1(2) REPLACE] インジケータ(橙)の点灯は、ランプ交換時期の目安です。[LAMP 1(2) REPLACE] インジケータが点灯したときは、ランプをすみやかに交換してください。ランプカウンターをリセットするまで電源「ON(入)」のときに点灯します。なお、点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。また、画面右上に現れる「ランプ交換」表示でもランプ交換時期をお知らせします。右図の「ランプ交換」が表示されたら、すみやかにランプを交換してください。

「ランプ交換」の表示

## ランプ交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行ないます。必ず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

- **交換ランプの品番: POA-LMP104**
  **(サービス部品コード: 610 337 0262)**
- **プロジェクターの品番: LP-WF20**

**動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45 分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。**



※ 手順は次ページへ

手　順

*1* 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず 45 分以上放置してください。

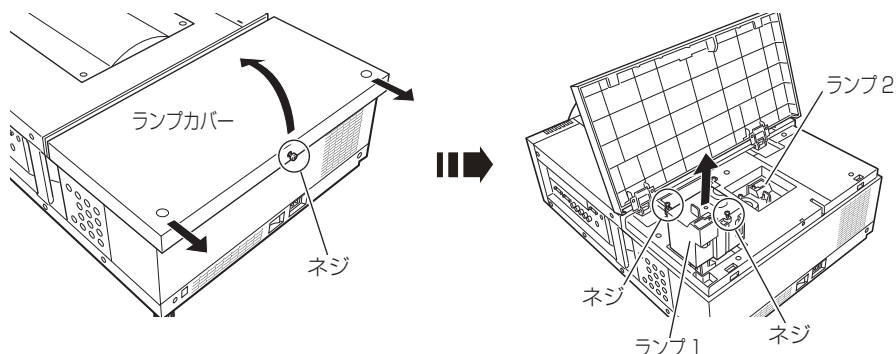
※ 電源を切る前に、ランプ 1/2 の、どちらを交換するのかインジケータもしくはランプステータス表示で確認します。

*2* ランプカバーのネジをゆるめ、手前に引いてから、上に持ち上げて開きます。

※ カチッと音がして、ロックがかかるまで開いてください。

*3* 2 本のネジをゆるめ、取っ手を持ってランプハウスごと引き出します。

*4* ランプの向きに注意しながら、交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、ネジをしめます。

*5* ランプカバーを閉じ、ネジをしめます。

ガラス面を手で触って汚さないでください。

## ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると [LAMP 1(2) REPLACE] インジケータ ( 橙 ) の点灯、および「ランプ交換」表示が消えます。
ランプカウンターのリセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「ランプカウンター」を参照ください。 83 ページ

**ランプは 2 個同時に交換することをおすすめします**

バランスのとれた明るさおよび色合いを保つため、ランプ交換をするときは、2 個のランプを同時に交換することをおすすめします。

**⚠ ご注意**

ランプの一部を取り外した状態でプロジェクターの電源を入れないでください。破損の原因となります。

# お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

**● 長い間ご使用にならないとき ●**

レンズや本体にホコリが付着しないようケースなどに納めて保管してください。

**● キャビネットのお手入れ ●**

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

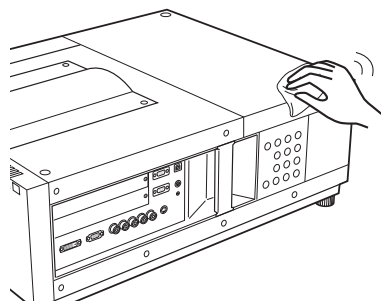
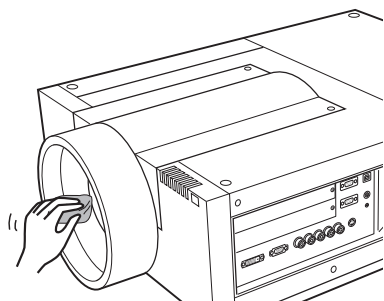
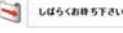
**● キャビネットをいためないために ●**

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

**● ベンジン・シンナーは使わないで ●**

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

**● レンズのお手入れ ●**

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

## [WARNING FILTER] インジケータと「フィルター警告」表示について

[WARNING FILTER] インジケータ ( 橙 ) の点灯･点滅は､エアフィルターの交換（巻き取り）やエアフィルターカートリッジの交換時期の目安です。☞ 93 ページ
また、「フィルター警告」表示でもエアフィルターの状況や、エアフィルターカートリッジの交換時期をお知らせします。

### 表示の種類

#### アイコン

| | | | |
|---|---|---|---|
| または | 「セッティング」メニューの「フィルターカウンター」で設定した時間に達したことをお知らせします。ただし、巻き取り回数の残りが「0」のときはが表示されます。 | • 最初の表示の後 15 分ごとに繰り返し表示されます。<br>• 電源を入れたとき<br>• インプットを切り換えたとき | • 「オンスクリーン表示･オフ」､「FREEZE」､中は表示されません。 |
| | エアフィルターカートリッジの交換をお知らせします。 | • 最初の表示の後 15 分ごとに繰り返し表示されます。<br>• 電源を入れたとき<br>• インプットを切り換えたとき | • 「オンスクリーン表示･オフ」､「FREEZE」､中は表示されません。 |
| | エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせします。 | • 電源を入れたとき<br>• インプットを切り換えたとき | • 「オンスクリーン表示･オフ」､「FREEZE」､中は表示されません。 |
| しばらくお待ち下さい | メニューまたはリモコンから、強制巻き取りを行なっていることをお知らせします。 | • 巻き取り実行中に表示されます。 | • 「オンスクリーン表示･オフ」中は表示されません。 |

※ エアフィルターの巻き取り回数の残りがあるときは表示せずに自動的に交換（巻き取り）をします。

インジケータ

| | |
|---|---|
| ○（点灯） | • エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせします。 |
| （点滅）（ゆっくり） | • エアフィルターの巻き取り中です。 |
| （点滅）（速い） | • エアフィルターの巻き取り中に異常が発生しました。<br>• エアフィルターカートリッジが本体にセットされていません。 |

## エアフィルターカートリッジの交換

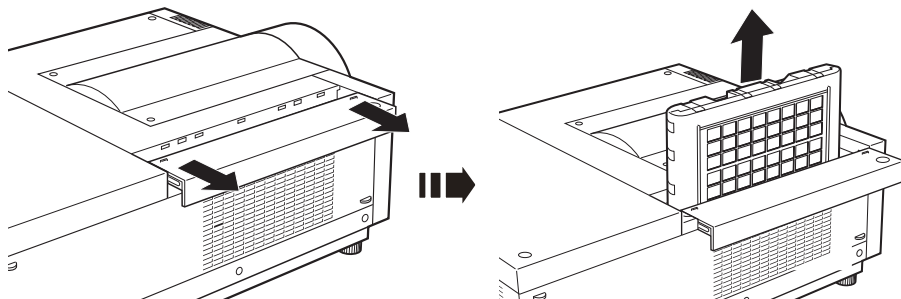
エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルター周辺の吸気口は、こまめに掃除してください。

### エアフィルターカートリッジの サービス部品コード：610 335 9830

*1* プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。交換は必ず電源を切ってから行なってください。

*2* エアフィルターカバーを手前にスライドさせます。（エアフィルターが見えます）

*3* エアフィルターカートリッジのグリップをつかんで引き上げます。

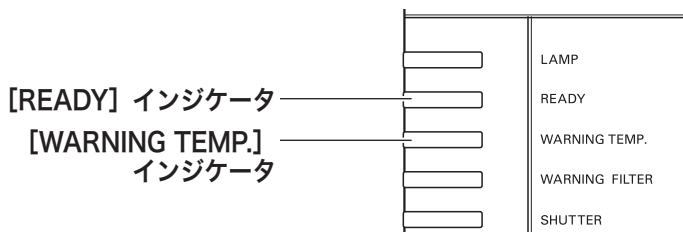
*4* 新しいエアフィルターカートリッジのリール部分を下にして本体にはめ込みます。

## フィルターカウンターをリセットします

エアフィルターカートリッジ交換後は必ず「使用時間」および「スクロール残回数」をリセットしてください。リセットすると［WARNING FILTER］インジケータ(橙)の点灯、および「フィルター警告」表示が消えます。
各リセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「フィルターカウンター」を参照してください。
☞ 84、85 ページ

※ エアフィルターカートリッジの交換後は、必ず「使用時間・スクロール残回数」の両方をリセットしてください。

### エアフィルターについてのご注意

- **エアフィルターカートリッジは再利用できません。**
  エアフィルターの掃除などをして、再利用しないでください。使い終わりましたら、すみやかに新しいものと交換してください。
- **エアフィルターは水洗いできません。**
  エアフィルターカートリッジが水などで濡れないようにご注意ください。故障の原因となります。
- **エアフィルターを使い切ってからカートリッジ交換をしてください。**
  途中で交換したり、他のプロジェクターと使い回しなどをすると、フィルターの残回数を正しく確認できなくなり、故障の原因となります。
- **エアフィルターカートリッジの交換は電源が入っていないときに行なってください。**
  電源が入った状態でカートリッジを外すと、安全のため自動で電源が切れます。
- **エアフィルターカートリッジ交換後、「フィルターカウンターリセット」を忘れずに行なってください。**
  リセットを行わないと、エアフィルターの残回数を正しく認識できなくなり、故障の原因となります。
- **エアフィルターカートリッジはていねいに扱ってください。**
  エアフィルター部分に穴があいたり、破れたりするとフィルターの効果が損なわれます。
- **エアフィルターカバーの穴から内部へ、ものを差し込まないでください。**
  内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。

# 内部温度の上昇について

## ［WARNING TEMP.］インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると［WARNING TEMP.］インジケータ ( 赤 ) が低速で点滅しはじめます。
さらに温度が高くなると、保護のため自動的に電源が切れ、［WARNING TEMP.］インジケータ が高速の点滅に変わり、［READY］インジケータ ( 緑 ) が消えます。([LAMP] インジケータ ( 赤 ) は点灯、［WARNING TEMP.］インジケータは点滅を続けます。）温度が下がると ［READY］インジケータが点灯し､リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると［WARNING TEMP.］インジケータの点滅が消えます。［WARNING TEMP.］インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

### ここを確認してください

- エアフィルター付近にホコリがたまっていませんか。エアフィルター付近を掃除してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。（使用温度範囲：5℃～40℃）
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

電源を入れるときは、［READY］インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び［WARNING TEMP.］インジケータが点滅して電源が切れます。

## プロジェクターの電源が切れ、すべての インジケータが点灯・点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、[LAMP] インジケータが点灯し、その他のインジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンでの「電源入り・切り」はできなくなります。

このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れなおし、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、[LAMP] インジケータが点灯し、その他のインジケータが点滅する場合、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

※ エアフィルターカートリッジが本体にセットされていないとき、エアフィルターの巻き取り中に異常が起こったときにも全てのインジケータが点灯または点滅をします。
☞ 100 ページ

# インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

## 正常な動作のとき

| インジケータ | | | | | プロジェクターの状態 |
|---|---|---|---|---|---|
| LAMP 赤 | READY 緑 | WARNING TEMP. 赤 | WARNING FILTER 橙 | LAMP 1/2 REPLACE 橙 | |
| ● | ● | ● | ● | ● | 電源コードがコンセントから抜けています。 |
| ○ | ○ | ● | ✻ | ✻ | プロジェクターはスタンバイ状態です。<br>リモコンまたは操作パネルの［I/⏻ （ON/STAND-BY)］ボタンを押すと動作します。 |
| 暗点灯 | ○ | ● | ✻ | ✻ | プロジェクターは正常に動作しています。 |
| ○ | ● | ● | ✻ | ✻ | ランプの冷却中です。<br>[READY] インジケータが点灯に変わるまで［I/⏻ ］または、[ON/STAND-BY］ボタンを押して始動することはできません。 |
| 暗点灯 | 速い点滅 | ● | ✻ | ✻ | パワーマネージメントモードになっています。<br>プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。 |

**✻[WARNING FILTER]、[LAMP 1/2 REPLACE] インジケータについて**

[WARNING FILTER]、[LAMP 1/2 REPLACE] インジケータは、点灯または点滅する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく、点灯または点滅します。

**インジケータの状態**

**○・・・点灯　暗点灯・・・暗点灯　●・・・消灯　点滅・・・点滅**

**ゆっくりとした点滅・・・ゆっくりとした点滅（約 2 秒間隔）　速い点滅・・・速い点滅（約 0.5 秒間隔）**

※ [SHUTTER] インジケータについては 82 ページの「シャッター」を参照してください。

## 内部の温度に異常があるとき

| インジケータ | | | | | プロジェクターの状態 |
|---|---|---|---|---|---|
| LAMP<br>赤 | READY<br>緑 | WARNING<br>TEMP.<br>赤 | WARNING<br>FILTER<br>橙 | LAMP 1/2<br>REPLACE<br>橙 | |
| | | | * | * | プロジェクターの内部温度が高くなると、[WARNING TEMP.] インジケータが低速で点滅を始めます。 |
| | | | * | * | プロジェクターの内部温度がさらに高くなると、[WARNING TEMP.] インジケータが高速の点滅に変わり [READY] インジケータが消え、自動的に電源が切れます。リモコンまたは操作パネルの［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。<br>プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、[READY] インジケータが点灯に変わります。リモコンまたは操作パネルの［ I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押してプロジェクターを始動することができます。([WARNING TEMP.］インジケータは点滅したままです。）エアフィルターの点検などを行なってください。 |
| | | | * | * | 内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。リモコンまたは操作パネルの［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押すと、[WARNING TEMP.］インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。 |

## 内部電源に異常があるとき

| インジケータ | | | | | プロジェクターの状態 |
|---|---|---|---|---|---|
| LAMP<br>赤 | READY<br>緑 | WARNING<br>TEMP.<br>赤 | WARNING<br>FILTER<br>橙 | LAMP 1/2<br>REPLACE<br>橙 | |
| ○ | 点滅 | 点滅 | 点滅 | 点滅 | プロジェクターの内部に異常が検出されました。<br>リモコンまたは操作パネルの［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源は入りません。<br>一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れなおしてください。<br>再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をお客様相談センターへご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。<br>※ エアフィルターカートリッジが本体にセットされていないとき、または巻き取り中に異常が発生したときにも全てのインジケータが点灯または点滅をします。☞ 100ページ |

## エアフィルターに異常があるとき

| インジケータ | | | | | プロジェクターの状態 |
|---|---|---|---|---|---|
| LAMP<br>赤 | READY<br>緑 | WARNING TEMP.<br>赤 | WARNING FILTER<br>橙 | LAMP 1/2 REPLACE<br>橙 | |
| ❈ | ❈ | ● | ○ | ✱ | 画面右上に の表示があるときは、「セッティング」メニューの「フィルターカウンター」で設定した時間に達し、また巻き取り回数の残りも「0」になったことをお知らせしています。<br>エアフィルターカートリッジを交換してください。<br>画面右上に の表示があるときは、巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせしています。エアフィルターカートリッジを交換してください。<br>※「FREEZE」（☞45ページ）が動作中のときは画面表示はありません。 |
| ❈ | ❈ | ● | ◎ | ✱ | エアフィルターの巻き取り中です。 |
| ○ | ▨ | ▨ | ▨ | ▨ | エアフィルターカートリッジが本体にセットされていません。<br>または、巻き取り中に異常が起こりました。<br>※プロジェクター内部に異常が検出されたときにも全てのインジケータが点灯または点滅をします。<br>☞99ページ |

## ランプに異常があるとき

| インジケータ | | | | | プロジェクターの状態 |
|---|---|---|---|---|---|
| LAMP 赤 | READY 緑 | WARNING TEMP. 赤 | WARNING FILTER 橙 | LAMP 1/2 REPLACE 橙 | |
| ○ | ● | ● | ✻ | ○（点滅） | ランプが点灯しません。（ランプの冷却中です。[READY] インジケータが再度点灯した後、リモコンまたは操作パネルの［I/⏻ (ON/STAND-BY)］ボタンを押してください。） |
| ○ | ○ | ● | ✻ | ○（点滅） | ランプが点灯しません。（ランプの冷却が完了し、正常な温度に戻りました。リモコンまたは操作パネルの［I/⏻ (ON/STAND-BY)］ボタンを押すと、[LAMP 1(2) REPLACE] インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。） |
| ❊ | ❊ | ● | ✻ | ○ | ランプ交換推奨時間が既に経過し、ランプの寿命です。<br>また画面右上にも が表示され交換をお知らせします。速やかにランプを交換した後、ランプカウンターをリセットしてください。リセット後、[LAMP 1(2) REPLACE] インジケータは消えます。 |

**❊ のときのインジケータの状態ついて**

❊ で表されているインジケータがどのような状態のときでも該当のインジケータが点灯・点滅をすることを意味しています。たとえば、[LAMP] インジケータが点灯するとき [READY] インジケータは点灯·点滅·消灯いずれの場合もある、ということです。

# 故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。また、「インフォメーション」メニューで、信号の状況やセッティングの状況をお確かめください。

| | こんなときは | ここを確認してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 電源・初期設定 | 電源が入らない | ● 電源コードは接続されていますか。<br>● 電源は入っていますか。リモコンまたは操作パネルの［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押してみてください。<br>● ［READY］インジケータが消えているときは、リモコンまたは操作パネルの［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押しても電源が 入りません。<br>● ［WARNING TEMP.］インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっておりリモコンまたは操作パネルの［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が 下がるまでお待ちください。<br>● 「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンまたは操作パネルの［I/⏻（ON/STAND-BY)］ボタンを押してみてください。<br>● エアフィルターカートリッジが本体にセットされていますか。本体を確認してみてください。 | 29<br>31<br>97<br>98、98<br>78<br>93 |
| | 電源を入れたら、暗証番号を要求された | ● 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除、または設定の変更は「セッティング」の「暗証番号ロック」を確認してください。 | 79～81 |
| オープニング | オープニング画面が出ない | ● 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウンオフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 | 69 |
| | オープニング画面が初期設定の画像とちがう | ● 「ロゴ」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 | 70 |
| | インプットモードとランプモード以外の表示が現れた | ● ランプまたはエアフィルターの状態をお知らせしています。ランプまたはエアフィルターを確認してください。 | 89、92 |
| 画像・画質 | 画像が映らない | ● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。<br>● 電源を入れたあと約 20 秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。（「オンスクリーン表示・オフ」、「カウントダウン・オフ」のときをのぞく）<br>● コンピュータモードのときは、コンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。 | 27、28<br>69<br>51、52 |

| | こんなときは | ここを確認してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 画像・画質（つづき） | 画像が映らない（つづき） | ● 使用温度範囲（5℃～40℃）からはずれていませんか。<br>● 「SHUTTER」が閉じていませんか。リモコンまたは操作パネルの［SHUTTER］ボタンを押してみてください。<br>● コンピュータが外部出力に切り換わっていますか。出力の切換はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。<br>● コンピュータを再起動してみてください。 | <br>43 |
| | 画像が不鮮明 | ● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。<br>● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。<br>● スクリーンに対して過度に斜めに投映しているときは、画面に台形ひずみ（あおり）ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。<br>● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。<br>● レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなることがあります。<br>● レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお手入れをしてください。 | 39<br>40<br>91 |
| | 画面が暗い | ● 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。調整してみてください。<br>● 「イメージモード」が、正しく選択されていますか。「イメージ選択」メニューを確認してみてください。<br>● 「ランプモード」で、「1 灯」が選択されていませんか。「ランプモード」を確認してみてください。<br>● 「ランプコントロール」で、「エコモード」が選択されていませんか。「エコモード」は他のモードよりも暗くなります。<br>● ランプ交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくにつれじょじょに暗くなる性質があります。「ランプ交換」のお知らせ表示でランプ交換時期をお知らせします。表示が出たら、新しいランプに交換してください。 | 59<br>60<br>74<br>74<br>89、90 |
| | 画像の色がおかしい | ● 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピュータのシステムモードは合っていますか。また、「イメージ調整」を確認してください。 | 48～57 |
| | 逆さまに映っている | ● 「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「スクリーン」メニューを確認してください。 | 67 |
| | 画像がゆがんだり切れたりする | ● 「PC 調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。 | 53～56<br>63～67 |

## 故障かなと思ったら（つづき）

| | こんなときは | ここを確認してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 画像・画質（つづき） | 画像がゆがんだり切れたりする | ● 「PC 調整」や「スクリーン」メニューを確認・調整してください。 | 53～56<br>63～67 |
| | 画像の端ゆがんで見える | ● 「レンズシフト」を最大まで動かしていませんか。「レンズシフト」を確認してください。 | 40 |
| 設定・操作・調整 | 自動 PC 調整が働かない | ● 入力信号を確認してください。入力信号がデジタルのときは選択できません。 | 108、109 |
| | 表示されない機能がある | ● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。 | 69 |
| | 電源を切る前の設定が残っていない | ● 項目の調整後に「メモリー登録」を実行しましたか。「メモリー」で登録しないと保存されない項目があります。 | 58 |
| | 「パワーマネージメント」が働かない | ● 「FREEZE、SHUTTER」の動作中は「パワーマネージメント」は作動しません。 | 42 |
| | 「キャプチャー」が働かない | ● 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。 | 27、28 |
| | 選択できないメニューがある | ● ビデオ入力画面とコンピュータ入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。 | |
| | 自動的に電源が切れる | ● 工場出荷時の設定で「パワーマネージメント」機能が設定されています。「セッティング」を確認してください。 | 77 |
| | 操作パネルで操作できない | ● 「キーロック」で操作パネルからの操作をロックしていませんか。リモコンから「セッティング」を確認してください。 | 78 |
| | 「シャッター」が動かない | ● 「シャッター・保護」でリモコンまたは操作パネルからの操作をロックしていませんか。「セッティング」を確認してください。 | 82 |
| リモコン | リモコンで操作できない | ● 電池は正しく入っていますか。＋－を正しく入れてください。 | 23 |
| | | ● 電池がなくなっていませんか。新しい電池と交換してください。 | 23 |
| | | ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 | 23 |
| | | ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。 | 23 |

| | こんなときは | ここを確認してください | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| リモコン | **リモコンで操作できない（つづき）** | ● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。 | 24 |
| | | ● 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。 | 78 |
| その他 | **インジケータが点滅・点灯している** | ● 「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。 | 97～101 |
| | **キーロックの解除ができない<br>ロゴ暗証番号・暗証番号を忘れた** | ● お手数ですが、お買い上げの販売店または修理相談窓口へご相談ください。 | |
| | **ボタンを押したのに、[!]が表示された** | ● プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。接続や入力信号などを確認してみてください。 | |

# コンピュータシステムモード一覧

## コンピュータの信号がアナログのとき

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(「カスタムモード 1 ～ 10」 は含みません。) 接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

| 画面表示 | 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) |
|---|---|---|---|
| VGA 1 | 640x480 | 31.470 | 59.880 |
| VGA 2 | 720x400 | 31.470 | 70.090 |
| VGA 3 | 640x400 | 31.470 | 70.090 |
| VGA 4 | 640x480 | 37.860 | 74.380 |
| VGA 5 | 640x480 | 37.860 | 72.810 |
| VGA 6 | 640x480 | 37.500 | 75.000 |
| VGA 7 | 640x480 | 43.269 | 85.000 |
| MAC LC13 | 640x480 | 34.970 | 66.600 |
| MAC 13 | 640x480 | 35.000 | 66.670 |
| 480p | 640x480 | 31.470 | 59.880 |
| 575p | 768x575 | 31.250 | 50.000 |
| 575i | ｲﾝﾀｰﾚｰｽ | 15.625 | 50.000 |
| 480i | ｲﾝﾀｰﾚｰｽ | 15.734 | 60.000 |
| SVGA 1 | 800x600 | 35.156 | 56.250 |
| SVGA 2 | 800x600 | 37.880 | 60.320 |
| SVGA 3 | 800x600 | 46.875 | 75.000 |
| SVGA 4 | 800x600 | 53.674 | 85.060 |
| SVGA 5 | 800x600 | 48.080 | 72.190 |
| SVGA 6 | 800x600 | 37.900 | 61.030 |
| SVGA 7 | 800x600 | 34.500 | 55.380 |
| SVGA 8 | 800x600 | 38.000 | 60.510 |
| SVGA 9 | 800x600 | 38.600 | 60.310 |
| SVGA 10 | 800x600 | 32.700 | 51.090 |
| SVGA 11 | 800x600 | 38.000 | 60.510 |
| MAC 16 | 832x624 | 49.720 | 74.550 |
| XGA 1 | 1024x768 | 48.360 | 60.000 |
| XGA 2 | 1024x768 | 68.677 | 84.997 |
| XGA 3 | 1024x768 | 60.023 | 75.030 |
| XGA 4 | 1024x768 | 56.476 | 70.070 |
| XGA 5 | 1024x768 | 60.310 | 74.920 |
| XGA 6 | 1024x768 | 48.500 | 60.020 |
| XGA 7 | 1024x768 | 44.000 | 54.580 |
| XGA 8 | 1024x768 | 63.480 | 79.350 |
| XGA 9 | ｲﾝﾀｰﾚｰｽ | 36.000 | 87.170 |
| XGA 10 | 1024x768 | 62.040 | 77.070 |

| 画面表示 | 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数（Hz） |
|---|---|---|---|
| XGA 11 | 1024x768 | 61.000 | 75.700 |
| XGA 12 | インターレース | 35.522 | 86.960 |
| XGA 13 | 1024x768 | 46.900 | 58.200 |
| XGA 14 | 1024x768 | 47.000 | 58.300 |
| XGA 15 | 1024x768 | 58.030 | 72.000 |
| MAC 19 | 1024x768 | 60.240 | 75.080 |
| SXGA 1 | 1152x864 | 64.200 | 70.400 |
| SXGA 2 | 1280x1024 | 62.500 | 58.600 |
| SXGA 3 | 1280x1024 | 63.900 | 60.000 |
| SXGA 4 | 1280x1024 | 63.340 | 59.980 |
| SXGA 5 | 1280x1024 | 63.740 | 60.010 |
| SXGA 6 | 1280x1024 | 71.690 | 67.190 |
| SXGA 7 | 1280x1024 | 81.130 | 76.107 |
| SXGA 8 | 1280x1024 | 63.980 | 60.020 |
| SXGA 9 | 1280x1024 | 79.976 | 75.025 |
| SXGA 10 | 1280x960 | 60.000 | 60.000 |
| SXGA 11 | 1152x900 | 61.200 | 65.200 |
| SXGA 12 | 1152x900 | 71.400 | 75.600 |
| SXGA 13 | インターレース | 50.000 | 86.000 |
| SXGA 14 | インターレース | 50.000 | 94.000 |
| SXGA 15 | 1280x1024 | 63.370 | 60.010 |
| SXGA 16 | 1280x1024 | 76.970 | 72.000 |
| SXGA 17 | 1152x900 | 61.850 | 66.000 |
| SXGA 18 | インターレース | 46.430 | 86.700 |
| SXGA 19 | 1280x1024 | 63.790 | 60.180 |
| SXGA 20 | 1280x1024 | 91.146 | 85.024 |
| SXGA+ 1 | 1400x1050 | 63.970 | 60.190 |
| SXGA+ 2 | 1400x1050 | 65.350 | 60.120 |
| SXGA+ 3 | 1400x1050 | 65.120 | 59.900 |
| SXGA+ 4 | 1400x1050 | 64.030 | 60.010 |
| SXGA+ 5 | 1400x1050 | 62.500 | 58.600 |
| MAC 21 | 1152x870 | 68.680 | 75.060 |
| MAC | 1280x960 | 75.000 | 75.080 |
| MAC | 1280x1024 | 80.000 | 75.080 |
| WXGA 1 | 1366x768 | 48.360 | 60.000 |
| WXGA 2 | 1360x768 | 47.700 | 60.000 |
| WXGA 3 | 1376x768 | 48.360 | 60.000 |
| WXGA 4 | 1360x768 | 56.160 | 72.000 |
| WXGA 6 | 1280x768 | 47.776 | 59.870 |
| WXGA 7 | 1280x768 | 60.289 | 74.893 |
| WXGA 8 | 1280x768 | 68.633 | 84.837 |
| WXGA 9 | 1280x800 | 49.600 | 60.050 |
| WXGA 10 | 1280x800 | 41.200 | 50.000 |

## コンピュータの信号がアナログのとき（つづき）

| 画面表示 | 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数（Hz） | |
|---|---|---|---|---|
| UXGA 1 | 1600x1200 | 75.000 | 60.000 | ✻1 |
| UXGA 2 | 1600x1200 | 81.250 | 65.000 | ✻1/✻2 |
| UXGA 3 | 1600x1200 | 87.500 | 70.000 | ✻1/✻2 |
| UXGA 4 | 1600x1200 | 93.750 | 75.000 | ✻1/✻2 |
| UXGA 5 | 1600x1200 | 106.250 | 85.000 | ✻1/✻2 |
| 720p | 1280x720 | 45.000 | 60.000 | |
| 720p | 1280x720 | 37.495 | 50.000 | |
| 1035i | ｲﾝﾀｰﾚｰｽ | 33.750 | 60.000 | |
| 1080i | ｲﾝﾀｰﾚｰｽ | 33.750 | 60.000 | |
| | ｲﾝﾀｰﾚｰｽ | 28.125 | 50.000 | |

## コンピュータの信号がデジタルのとき

| 画面表示 | 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数（Hz） |
|---|---|---|---|
| D-VGA | 640x480 | 31.470 | 59.940 |
| D-480p | 720x480 | 31.470 | 59.880 |
| D-575p | 720x575 | 31.250 | 50.000 |
| D-SVGA | 800x600 | 37.879 | 60.320 |
| D-XGA | 1024x768 | 43.363 | 60.000 |
| D-WXGA 1 | 1366x768 | 48.360 | 60.000 |
| D-WXGA 2 | 1360x768 | 47.700 | 60.000 |
| D-WXGA 3 | 1376x768 | 48.360 | 60.000 |
| D-WXGA 4 | 1360x768 | 56.160 | 72.000 |
| D-WXGA 5 | 1366x768 | 46.500 | 50.000 |
| D-WXGA 6 | 1280x768 | 47.776 | 59.870 |
| D-WXGA 7 | 1280x768 | 60.289 | 74.893 |
| D-WXGA 8 | 1280x768 | 68.633 | 84.837 |
| D-WXGA 9 | 1280x800 | 49.600 | 60.050 |
| D-WXGA 10 | 1280x800 | 41.200 | 50.000 |
| D-SXGA 1 | 1280x1024 | 63.980 | 60.020 |
| D-SXGA 2 | 1280x1024 | 60.276 | 58.069 |
| D-SXGA+ 1 | 1400x1050 | 63.970 | 60.190 |
| D-SXGA+ 2 | 1400x1050 | 65.350 | 60.120 |
| D-SXGA+ 3 | 1400x1050 | 65.120 | 59.900 |
| D-720p | 1280x720 | 45.000 | 60.000 |
| D-720p | 1280x720 | 37.500 | 50.000 |
| D-1035i | ｲﾝﾀｰﾚｰｽ | 33.750 | 60.000 |

## コンピュータの信号がデジタルのとき（つづき）

| 画面表示 | 解像度 | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数（Hz） |
|---|---|---|---|
| D-1080i | インターレース | 33.750 | 60.000 |
| | インターレース | 28.125 | 50.000 |
| D-1080psf/30 | 1920x1080 | 33.750 | 60.000 |
| D-1080psf/25 | 1920x1080 | 28.125 | 50.000 |
| D-1080psf/24 | 1920x1080 | 27.000 | 48.000 |

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。
※ ドットクロックが 180MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。
※ ご使用のコンピュータによっては、D-WXGA 1 ～ D-SXGA 10 の画像は正しく映らない場合があります。
※ SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080i の信号を投映するときは、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
✻1：「PC 調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。
✻2：「画面サイズ：リアル」には対応していません。

# メニュー内容一覧

## インプット：コンピュータ / ビデオ

## インフォメーション

**インフォメーション**

- インプット
- 水平周波数
- 垂直周波数
- スクリーン
- 言語
- ランプモード
- ランプコントロール
- パワーマネージメント
- シャッターマネージメント
  - リモートコントロール
  - プロジェクター（時間）
- セキュリティ
  - キーロック
  - 暗証番号ロック
- リモコンコード

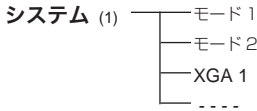
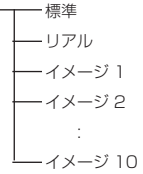
## イメージ調整

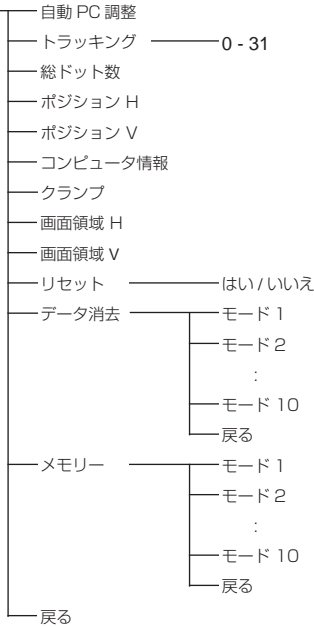
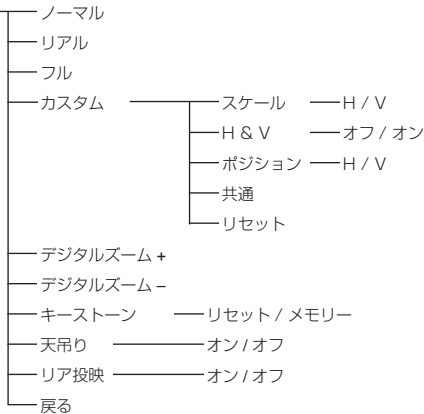
**イメージ調整**

- コントラスト — 0 - 63
- 明るさ — 0 - 63
- 色の濃さ* — 0 - 63
- 色合い* — 0 - 63
- カラーマネージメント
- 自動画質補正 — オフ / L1 / L2
- 色温度 — 超低 / 低 / 中 / 高 / 調整中
- 赤 — 0 - 63
- 緑 — 0 - 63
- 青 — 0 - 63
- オフセット — 赤 / 緑 / 青
- 画質 — 0 - 31
- ガンマ補正 — 0 - 15
- ノイズリダクション* — オフ / オン
- プログレッシブ* — オフ / オン / フィルム
- リセット — はい / いいえ
- メモリー
  - イメージ 1 ～ 10
  - 戻る
- 戻る

* ビデオ信号入力の時のみ選択可

## コンピュータ入力

イメージ選択
- 標準
- リアル
- イメージ 1
- イメージ 2
- :
- イメージ 10

※ 表示される内容は入力された信号によって異なります。

付録

## ビデオ入力

**Auto**

**システム** (2)
- Auto
- 1080i
- 1035i
- 720p
- 575p
- 480p
- 575i
- 480i

**Auto**

**システム** (3)
- Auto
- PAL
- SECAM
- NTSC
- NTSC 4.43
- PAL-M
- PAL-N

**イメージ選択**
- 標準
- シネマ
- イメージ 1
- イメージ 2
- ：
- イメージ 10

**スクリーン**
- ノーマル
- ズーム
- ピッタリワイド
- ワイド
- フル
- カスタム
  - スケール ― H / V
  - H & V ― オフ / オン
  - ポジション ― H / V
  - 共通
  - リセット
- キーストーン ― リセット / メモリー
- 天吊り ― オン / オフ
- リア投映 ― オン / オフ
- 戻る

## セッティング

セッティング
（第二画面）
フィルター制御
はい / いいえ
ファン制御
ノーマル / マックス
リモコンコード
コード 1 ～ 8
戻る
リモコン受光部
両方 / 前 / 後
パワーマネージメント
オフ / 待機 / シャットダウン
1 ～ 30（タイマー：分）
戻る
オンスタート
オン / オフ
セキュリティ
キーロック
オフ
プロジェクター
リモコン
暗証番号ロック
オフ / オン 1 / オン 2
暗証番号変更
戻る

セッティング
（第三画面）
プロジェクター　ID
1 ～ 999
シャッター
保護
リモートコントロール
プロジェクター
マネージメント
5 ～ 180　分
戻る
ランプカウンター
時間（換算時間）
リセット
はい / いいえ
戻る
フィルターカウンター
使用時間
時間（使用時間）
オフ /400 時間 /700 時間 /1000 時間
リセット
はい / いいえ
戻る
スクロール残回数
スクロール（残回数）
リセット
はい / いいえ
戻る
テストパターン
8種類のパターン
初期設定
はい / いいえ
戻る

## プロジェクター本体

| 型名 | LP-WF20 |
|---|---|
| 種類 | 液晶プロジェクター |
| 表示方式 | 液晶パネル 3 枚 3 原色光シャッター方式 |
| 液晶パネル | サイズ : 1.2 型 x 3<br>アスペクト比 17 : 10<br>駆動方式 : ポリシリコン TFT アクティブマトリクス方式<br>画素配列 : ストライプ、画素数 :1,092,800 画素 (1,366 x 800) x 3 枚<br>総画素数 3,278,400 画素 |
| 光源 | 330W NSHA ランプ x2 |
| ズーム /<br>フォーカス調整 | 電動（電動式レンズの場合） |
| 入出力<br>INPUT 1 | <br>DVI 入力 (1 系統 ):DVI-D コネクター (24 ピン )<br>デジタル :TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)<br>アナログ RGB 入力 : ミニ D-sub_15 ピン<br>アナログ RGB 信号 :0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω<br>水平・垂直同期 :TTL レベル、負または正極性<br>(G 信号中のコンポジット同期 :0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75 Ω ) |
| INPUT 2 | アナログ RGB 入力 :BNC x 5 ピン<br>映像入力 :BNC コネクター、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω<br>S 映像入力 : セパレート YC 信号、ミニ DIN_4 ピン<br>Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω<br>C;0.286Vp-p ( バースト信号 )、インピーダンス 75 Ω<br>コンポーネント入力 : セパレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号、BNC x 5 ピン<br>Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス 75 Ω<br>Cb/Pb;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω<br>Cr/Pr;0.7Vp-p、インピーダンス 75 Ω |
| 制御入出力、他 | シリアルポート : ミニ D-sub 9 ピン ( 入力 1 系統 / 出力 1 系統)<br>USB 端子 :USB コネクター (1 系統、シリーズ B)<br>ワイヤード リモコン端子 : ミニジャック |
| 走査周波数 | 水平 15k ～ 120kHz、垂直 48 ～ 120Hz |
| カラーシステム | 6 システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N) |
| 電源 | AC100V 50/60Hz |
| 消費電力 | 950W、17W ( 待機中消費電力 ) |
| 本体寸法 | 幅 530 ×高さ 267.5 ×奥行 757 mm ( 突起物を含まず ) |
| 質量 | 27.6 Kg |

## リモコン

| 電源 | DC3.0V　単三形アルカリ乾電池 2 本使用 |
|---|---|
| 到達距離 | 約 5m ( 受信部正面 ) |
| 本体寸法 | 幅 50 ×高さ 27 ×奥行 168mm |
| 質量 | 129g ( 電池を含む ) |

## 付属品

- ■ リモコン (CXYE) ･････････････････････････････････････････ 1 個
- ■ リモコン用 アルカリ乾電池 ･････････････････････････････････ 2 本
- ■ 電源コード ･･･････････････････････････････････････････････ 1 本
- ■ 電源プラグアダプタ ･････････････････････････････････････ 1 個
- ■ コンピュータケーブル（D-sub 用） ･･････････････････････････ 1 本
- ■ 取扱説明書 ･･････････････････････････････････････････････ 1 冊
- ■ お客さまご相談窓口一覧 ･･････････････････････････････････ 1 枚
- ■ 保証書
- ■ PIN code lock シール ･･････････････････････････････････････ 1 枚
- ■ レンズロックレバー ･･･････････････････････････････････････ 2 個
- ■ 遮光プレート ･･････････････････････････････････････････････ 3 枚
- ■ スペーサー ･･･････････････････････････････････････････････ 3 枚
- ■ Real Color manager Pro ･････････････････････････････････････ 1 セット
- ■ レンズカバー注意カード ･･････････････････････････････････ 1 枚
- ■ レンズ取付金具 ･･････････････････････････････････････････ 1 個

各プロジェクターによって色味が異なります。

各プロジェクターはそれぞれ異なる特性を持っています。複数台のプロジェクターを用いて同じスクリーン上、または隣り合わせて投映される場合、プロジェクターのホワイトバランスや色味の違いが感じられます。これは各プロジェクター固有の特性によるものでプロジェクターの故障ではありません

※ 高調波電流規格　 JIS C 61000-3-2:2005 適合品

※ HDCP とは、High-bandwidth Digital Contents Protection の略称で、DVI を経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機の DVI-D 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投映することができます。HDCP の規格変更等が行なわれた場合、これら HDCP 技術でコピープロテクトされたデジタル映像の DVI-D 端子での再生はできなくなる場合があります。

※ 液晶パネルの有効画素数は　99.99 % 以上です。投映中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

# 別売品

<インターフェースボード>

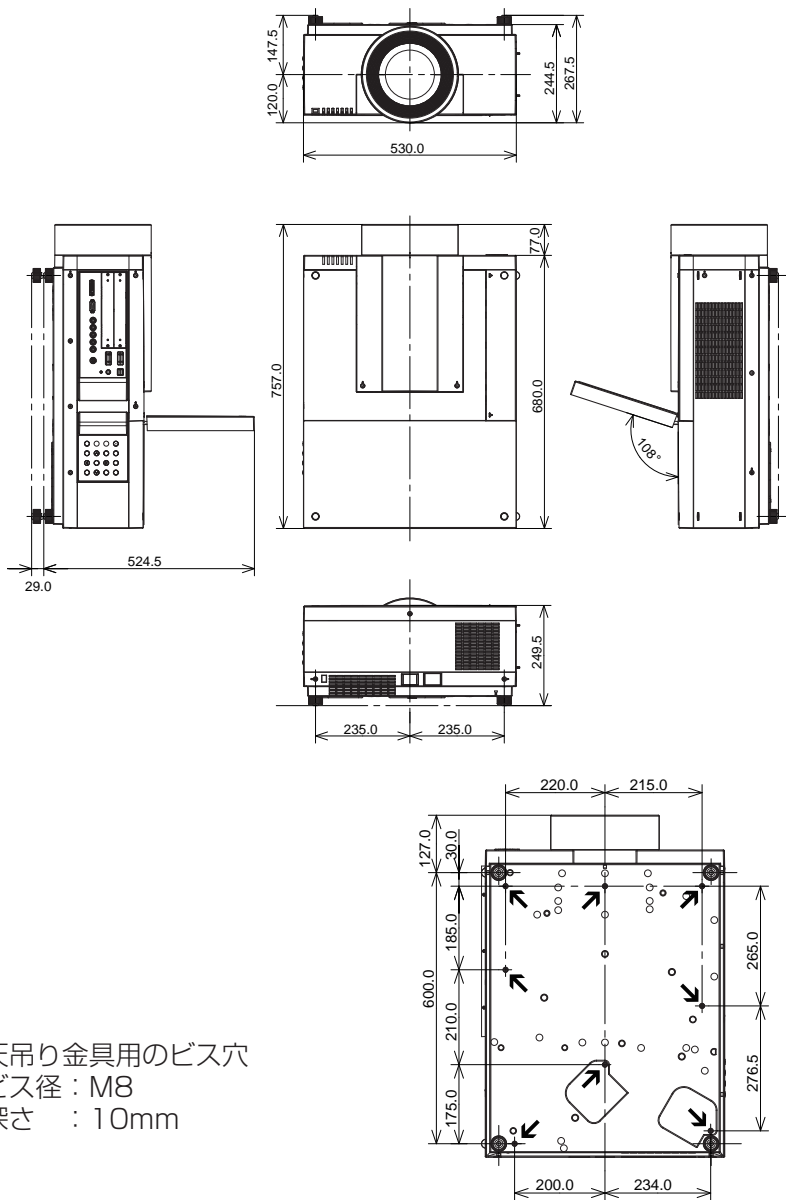
■ DVI/D-sub ボード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-MD23ADI
■ 5 BNC/VIDEO ボード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-MD25VD3
■ DVI ボード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-MD18DVI
■ 5 BNC ボード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-MD16VD1
■ D-sub ボード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-MD04VGA
■ Dual SDI ボード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-MD17SDID
■ ネットワークボード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-MD13NET2

<その他>

■ リモコン ケーブル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CA-RC30
■ 高天井用天吊金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHL-FL01
■ 低天井用天吊金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHS-FS01
■ 天吊金具用ベース金具 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CHB-XF70

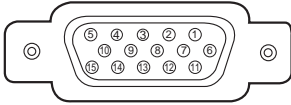
※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

# 寸法図

↘天吊り金具用のビス穴
ビス径：M8
深さ　：10mm

単位： mm

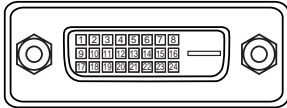
# 端子の仕様

## ANALOG（コンピュータ アナログ入力端子）

コンピュータからのアナログ RGB 出力を接続したり、コンピュータへアナログ RGB 出力を出したりする端子です。接続にはコンピュータケーブル（D-sub 用）を使用します。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | R 入出力 | 9 | +5V パワー |
| 2 | G 入出力 | 10 | 接地（垂直同期） |
| 3 | B 入出力 | 11 | 接地 |
| 4 | 未接続 | 12 | DDC データ |
| 5 | 接地（水平同期） | 13 | 水平同期 入出力<br>(ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ：水平垂直同期) |
| 6 | 接地 (R) | | |
| 7 | 接地 (G) | 14 | 垂直同期 入出力 |
| 8 | 接地 (B) | 15 | DDC クロック |

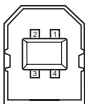
## DIGITAL（DVI-D）（コンピュータ DVI-D 入力端子）

コンピュータからのデジタル（TMDS）出力を接続する端子です。接続には DVI 用コンピュータケーブル ( 別売 ) を使用します。

**DVI 24 ピン**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | T.M.D.S. データ 2- | 13 | 未接続 |
| 2 | T.M.D.S. データ 2+ | 14 | +5V パワー |
| 3 | T.M.D.S. データ 2 シールド | 15 | 接地 (+5V) |
| 4 | 未接続 | 16 | ホットプラグ検知 |
| 5 | 未接続 | 17 | T.M.D.S. データ 0- |
| 6 | DDC クロック | 18 | T.M.D.S. データ 0+ |
| 7 | DDC データ | 19 | T.M.D.S. データ 0 シールド |
| 8 | 未接続 | 20 | 未接続 |
| 9 | T.M.D.S. データ 1- | 21 | 未接続 |
| 10 | T.M.D.S. データ 1+ | 22 | T.M.D.S. クロック シールド |
| 11 | T.M.D.S. データ 1 シールド | 23 | T.M.D.S. クロック + |
| 12 | 未接続 | 24 | T.M.D.S. クロック - |

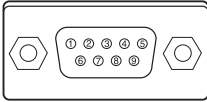
## USB (ユニバーサルシリアルバス端子)

USB 規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。（シリーズ B）

**USB コネクター（シリーズ B)**

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | VCC(5V) | 3 | + DATA |
| 2 | − DATA | 4 | 接地 |

SERIAL PORT IN / OUT（シリアルポート入出力端子）

接続したコンピュータからプロジェクターの制御を行なうときにつなぐ［SERIAL PORT IN］端子と、2台目以降のプロジェクターも同じコンピュータから制御を行なうときに、2台目以降のプロジェクターへも同じ制御信号を出力するための［SERIAL PORT OUT］端子です。

D-sub 9 ピン

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | – | 6 | – |
| 2 | RXD | 7 | RTS |
| 3 | TXD | 8 | CTS |
| 4 | – | 9 | – |
| 5 | SG | | |

## 暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなります

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

**暗証番号ロック**
**の暗証番号**

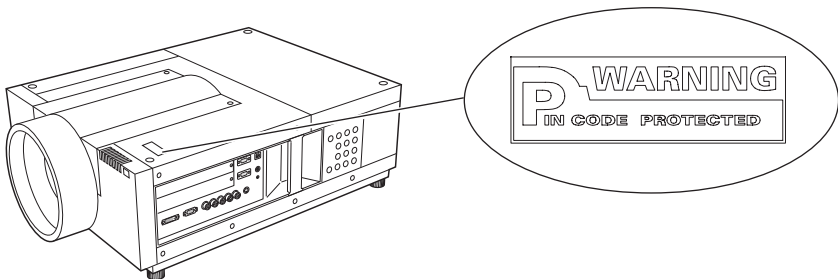
工場出荷時の暗証番号：　１２３４*

**ロゴ暗証番号ロック**
**の暗証番号**

工場出荷時の暗証番号：　４３２１*

*暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

## 暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録し、暗証番号を有効にしているとき、付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。

# シリアルコマンド一覧

RS232C により、プロジェクターをパソコンから遠隔操作するための制御コマンドです。

## 接続の手順

*1* RS-232C シリアルコントロールケーブルで、コンピュータのシリアルポートとプロジェクターの [SERIAL PORT IN] をつなぎます。

*2* 通信仕様を確認してください

| 項目 | 仕様 |
|---|---|
| 同期方式 | 調歩同期 |
| 通信速度 | 9600 / 19200 |
| データ長 | 8 ビット |
| パリティチェック | なし |
| ストップビット | 1 |
| フロー制御 | なし |

※ 通信速度の初期状態は「19200」です。
※ 通信エラーが発生するときはシリアルポートと通信速度を変えてみてください。

*3* プロジェクターを制御するためのコマンドを入力し、[Enter（エンター）] キーを押してください。

<例>入力を「インプット 2」に変えたいとき

“C” → “0” → “6” → [Enter]

※ コマンドを入力する英字はすべて大文字（A ～ Z）で、小文字は使用できません。

## フォーマット

### 機能実行の場合

*1* パソコンなどからプロジェクターへ以下のコマンドを送ります。

“C”［コマンド］【CR】

コマンド：2 文字（次ページの一覧を参照してください）

*2* プロジェクターは受信コマンドを解析し、受信できる状態になると以下の結果を返します。

【ACK】【CR】

※ 受信したデータが解読不能な場合は、“?”【CR】を返します。

### 状態取得の場合

*1* パソコンなどからプロジェクターへ以下のコマンドを送ります。

“CR”［コマンド］【CR】

コマンド：1 文字（次ページの一覧を参照してください）

*2* プロジェクターは受信コマンドを解析し、解析結果を返します。

## コマンド一覧表

以下の一覧表はプロジェクターを制御するためや、状態を取得するための一般的なコマンドリストです。 詳細なリストが必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 機能実行コマンド一覧表

| コマンド | 制御内容 |
|---|---|
| C00 | プロジェクター オン |
| C01 | プロジェクター オフ<br>( 瞬間オフ) |
| C05 | インプットセレクト 1 |
| C06 | インプットセレクト 2 |
| C07 | インプットセレクト 3 |
| C08 | インプットセレクト 4 |
| C0D | ビデオミュートオン |
| C0E | ビデオミュートオフ |
| C0F | アスペクト 4:3 |
| C10 | アスペクト 16:9 |
| C1C | メニューオン |
| C1D | メニューオフ |
| C3A | ポイント右 |
| C3B | ポイント左 |
| C3C | ポイント上 |

| コマンド | 制御内容 |
|---|---|
| C3D | ポイント下 |
| C3F | エンター |
| C46 | ズームダウン |
| C47 | ズームアップ |
| C4A | フォーカスダウン |
| C4B | フォーカスアップ |
| C5D | レンズシフトアップ |
| C5E | レンズシフトダウン |
| C5F | レンズシフト左 |
| C60 | レンズシフト右 |
| C89 | オートピーシーアジャスト |
| C8E | キーストーン上 |
| C8F | キーストーン下 |
| C90 | キーストーン右 |
| C91 | キーストーン左 |

### 状態取得コマンド一覧表

| コマンド | 情報内容 | 戻り値 | プロジェクターの状態 |
|---|---|---|---|
| CR0 | 動作状況 | 00 | パワーオン状態 |
| | | 80 | スタンバイ状態 |
| | | 40 | カウントダウン中 |
| | | 20 | クーリングダウン中 |
| | | 10 | 電源異常状態 |
| | | 28 | 温度異常でクーリングダウン中 |
| | | 02 | RS232C コマンドを受け付けられない状態 |
| | | 24 | パワーセーブでクーリングダウン中 |
| | | 04 | パワーセーブ状態 |
| | | 21 | ランプ不灯でオフした場合のクーリングダウン中 |
| | | 81 | ランプ不灯でクーリングダウン後のスタンバイ状態 |
| | | 88 | 温度異常でクーリングダウン後のスタンバイ状態 |
| | | 2C | シャッターマネージメントでオフした場合のクーリングダウン中 |
| | | 8C | シャッターマネージメントでオフした場合のクーリングダウン後のスタンバイ状態 |
| CR6 | 温度状況 | S1 S2 S3 | S1 = センサー 1 の温度 (℃)<br>S2 = センサー 2 の温度 (℃)<br>S3 = センサー 3 の温度 (℃)<br>(例) S1 = 12.3℃, S2 = 23.4℃, S3 = 34.5℃ のとき<br>--> 表示は “□12.3_□23.4_□34.5”<br>各センサーの温度が □XX.X と表示され各数値間に1スペース空いています、温度がプラスの時□はスペースとなり温度がマイナスの時□は(ー)となります。 |
| | | ? | 受信不能のとき |

# 保証とアフターサービス

## ■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

## ■保証期間

保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
（ただし、ランプは 6 ヶ月です）

## ■保証期間中の修理

保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## ■保証期間の過ぎたあとの修理

お買い上げの販売店にご相談ください。お客様のご要望により有料修理いたします。

## ■修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでもなおらない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

## ■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- ● お客さまのお名前
- ● ご住所、お電話番号
- ● 商品の品番
- ● 故障の内容（できるだけ詳しく）

## ■補修用性能部品について

この商品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 8 年保有しています。

---

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。

| 愛情点検 | ●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！ | 熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。 |
|---|---|---|

**このような症状はありませんか**

- 電源スイッチを入れても映像が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。

**ご使用中止**

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

## お客さまメモ

| 品　番 | LP-WF20 |
|---|---|
| お買い上げ年月日 | 年　　月　　日 |
| お買い上げ店名 | ☎ |
| 最寄りのお客さま<br>ご相談窓口 | ☎ |


**三洋電機株式会社**

ＤＩカンパニー
プロジェクター事業部
販売企画部　国内販売課
〒574 - 8534 大阪府大東市三洋町１ - １



1AA6P1P5478-- (KY3C)